

# フォローアップ事業について



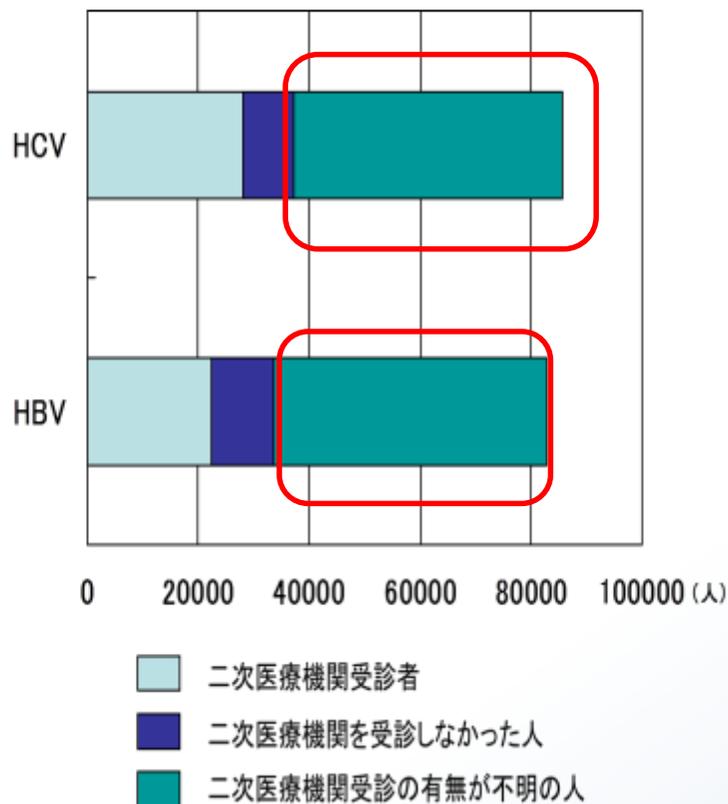
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
肝炎・免疫研究センター 是永匡紹

# 肝炎ウイルス検査陽性者の追跡

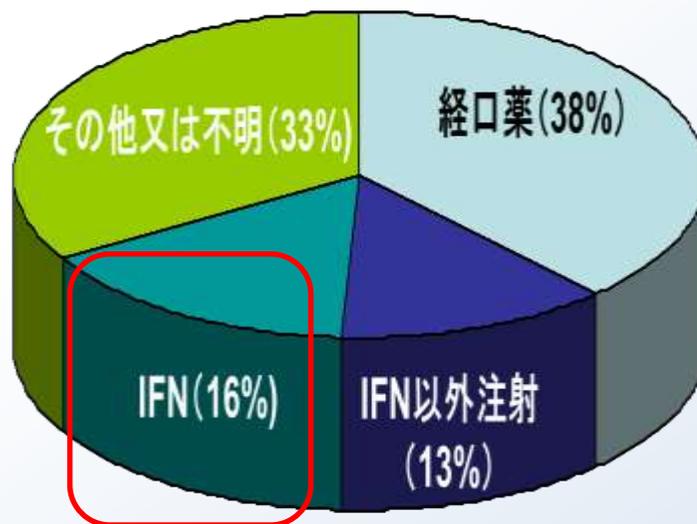
## 2次医療機関での受診有無の追跡が困難、抗ウイルス剤導入率が低い

平成14年度から17年度までの二次医療機関受診者数とその割合

二次医療機関で治療を受けた6,160人の治療内訳

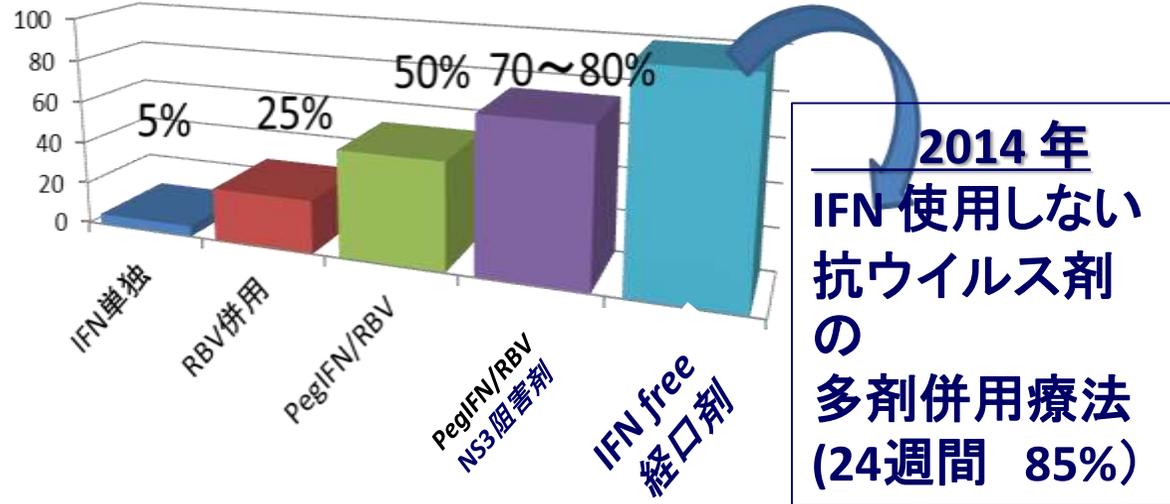


(平成14年度-平成17年度)



# 経口剤投与でHCV排除が可能な時代に！

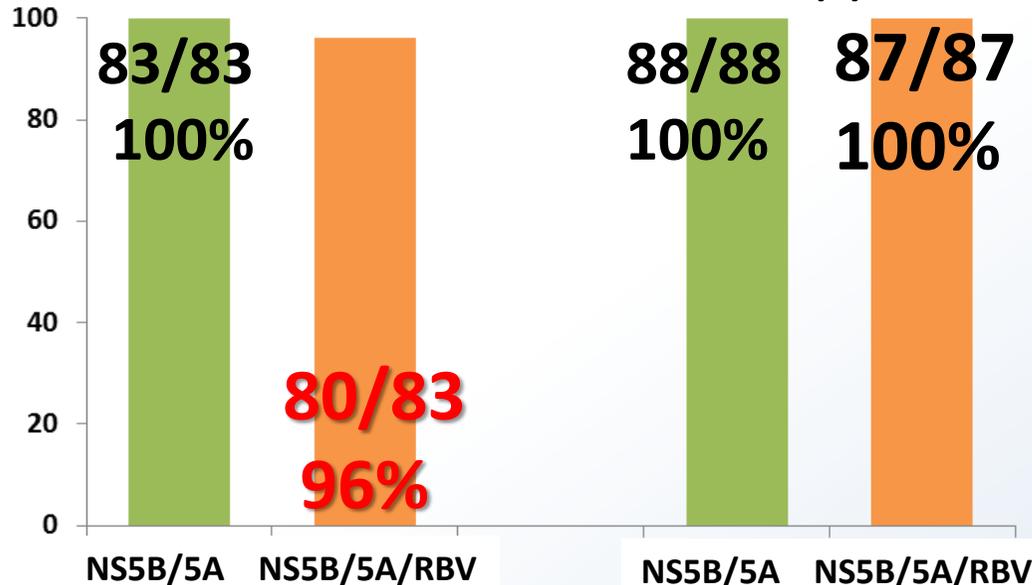
HCV排除率



2cmの経口剤

20150901使用可能  
1tab:80,1730円  
12w: 約680万

## NS5B阻害剤+ NS5A阻害剤 12週間 経口投与



肝硬変 (22%) 平均年齢: 59歳 (max:79歳)  
Phase 3 clinical trial (GS-US-337-0113) in Japan

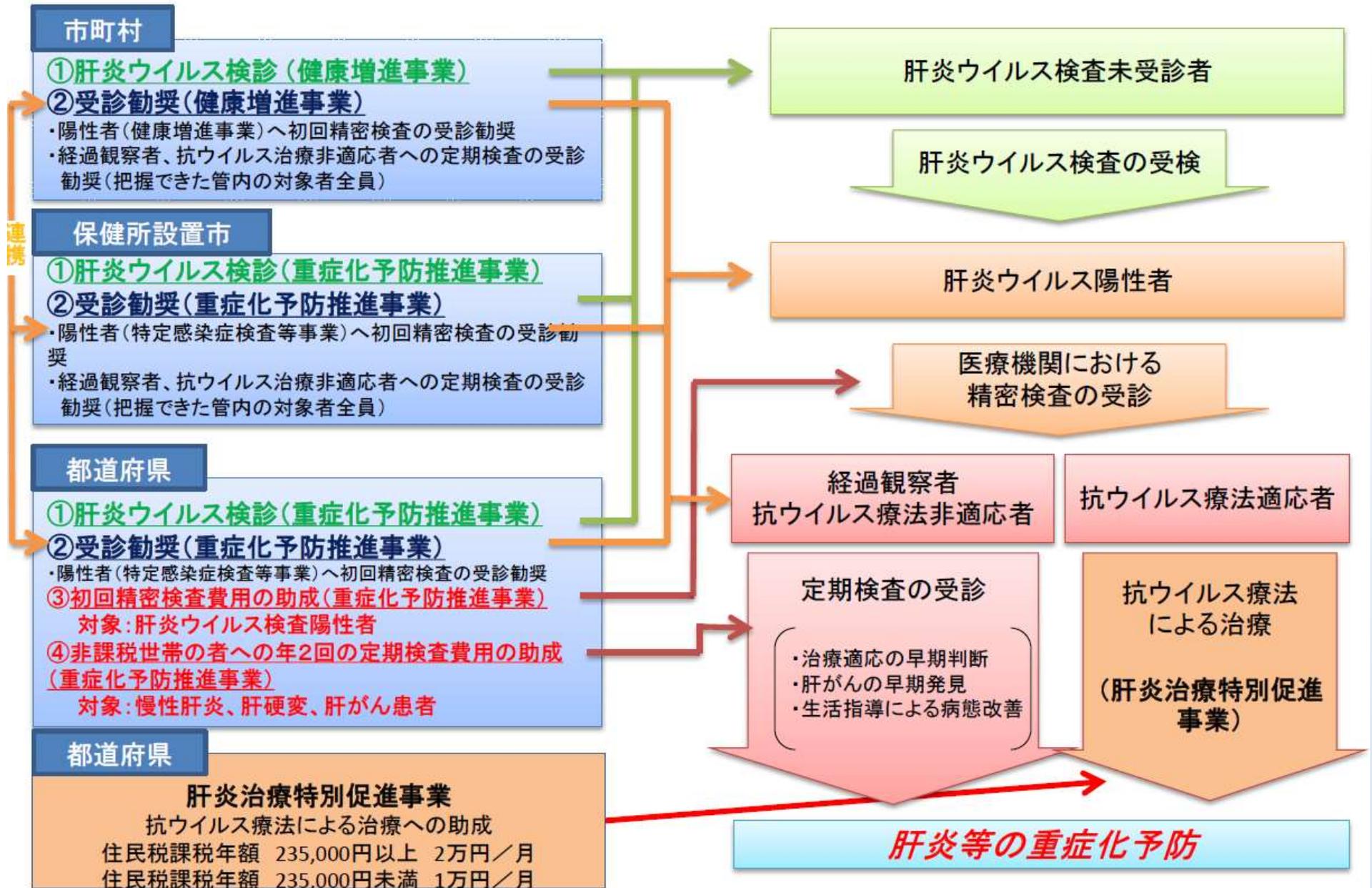
**ウイルス排除率**  
**= 338/341 (99%)**

再燃は1例のみ (2例は中止例)

**高齢者でもウイルス排除可能に**

Mizokami M, Yokosuka O, Korenaga M, et al Lancet Infectious Disease. 2015

# ウイルス性肝炎患者等の重症化予防の推進



# C型肝炎に対する医療費助成を通じた重症化予防の促進

1992年～  
インターフェロン治療

- SVR率 40～85%
- 副作用が多い
- 治療期間が長い（24～72週）



C型肝炎は治る時代に

2014年9月  
インターフェロンフリー治療

1  
治療効果

- 1. 治療効果が高い**
- SVR率 85（～100）%

3  
対象拡大

**3. 治療対象の拡大**  
IFN不適格・不耐容や前治療無効例等が新たに治療対象に。

2  
患者負担

- 2. 患者負担が少ない**
- 副作用が少ない
  - 内服剤投与のみによる治療
  - 短い治療期間（12～24週）
  - 外来での治療開始可能

# 肝炎の重症化予防対策



ステップⅡ「受診」

肝炎対策の推進



ステップⅠ「受検」



ステップⅢ「受療」

流れ

肝炎ウイルス検査未受診者

肝炎ウイルス検査の受検

受検

肝炎ウイルス陽性者

医療機関において  
初回精密検査の受診

受診

経過観察者  
抗ウイルス療法非適応者

抗ウイルス療法  
適応者

医療機関において  
定期検査の受診

- ・治療適応の判断
- ・肝がんリスクの低減
- ・生活指導によるリスク低減

陽性と判明しても受診しない人が

**50~120万人**

肝炎の重症化予防(肝がんリスク低減)

検査を受けないと  
はじまらない!

陽性が判明しても  
放置しては意味が無い!

道府県による肝炎ウイルス検査

・市町村による健康増進事業(肝炎ウイルス検診)

● 検査の実施,費用助成

● 個別勧奨の実施

府県による正しい知識普及

重症化予防対策の推進

● 初回精密検査費用、定期検査費用の助成

● 陽性者のフォローアップの実施

● 費用助成

(初回精密検査費用)

● 検査費用の助成

● 検査費用の助成

● 肝炎に関する基礎・臨床・疫学研究の推進

・祝課税-235,000円未満  
1万円/月

# 肝炎の進行と対策のイメージ

感染

10~30年

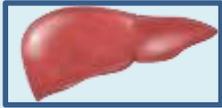
10年

無症候

慢性肝炎

肝硬変

肝がん



患者数  
(B型,C型)  
キャリア数  
(B型,C型)

33万人

11万人

300~370万人

肝炎ウイルス検査

重症化予防対策

初回精密検査

定期検査

- ・ 平成26年度に創設
- ・ 助成対象の拡充 (所得制限の緩和)

肝炎医療費助成

核酸アナログ製剤治療 (B型) (※)

インターフェロン治療 (B型・C型)

インターフェロンフリー治療 (C型)

- ・ 認定基準の緩和 (H28年4月~)

- ・ 平成26・27年度に新薬の承認
- ・ 助成予算の大幅拡充

障害認定・自立支援医療 (移植のみ)

障害年金

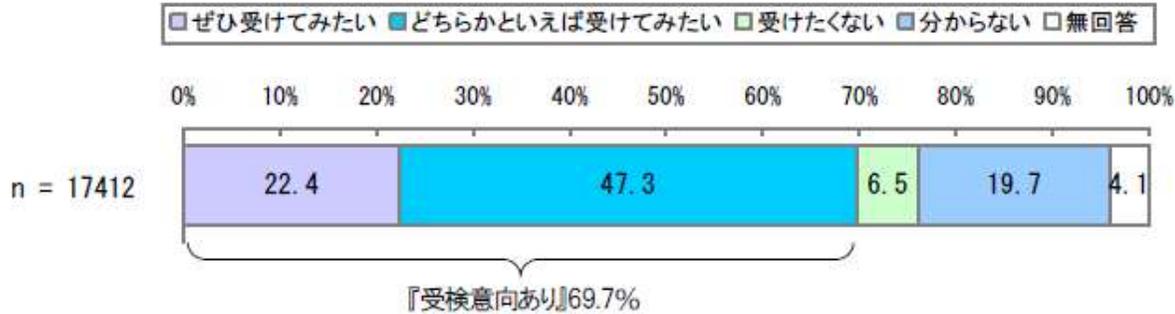
- ・ 平成26年6月に基準の明確化
- ・ 患者への周知

※肝がんについては、慢性肝炎・肝硬変の段階から助成を受けている者

# 肝炎ウイルス検査未受検者の受検意向

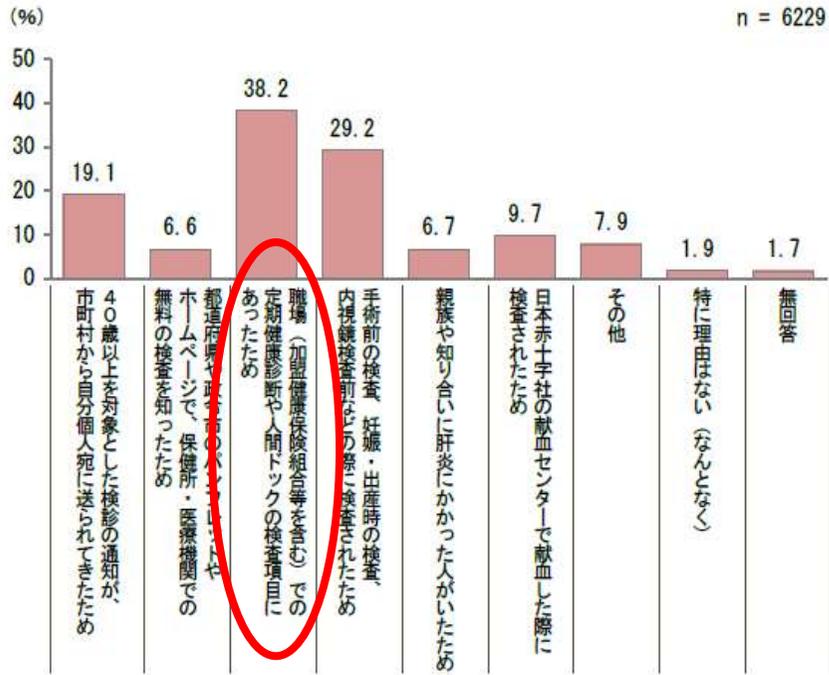
## 今後の受検意向

問5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか



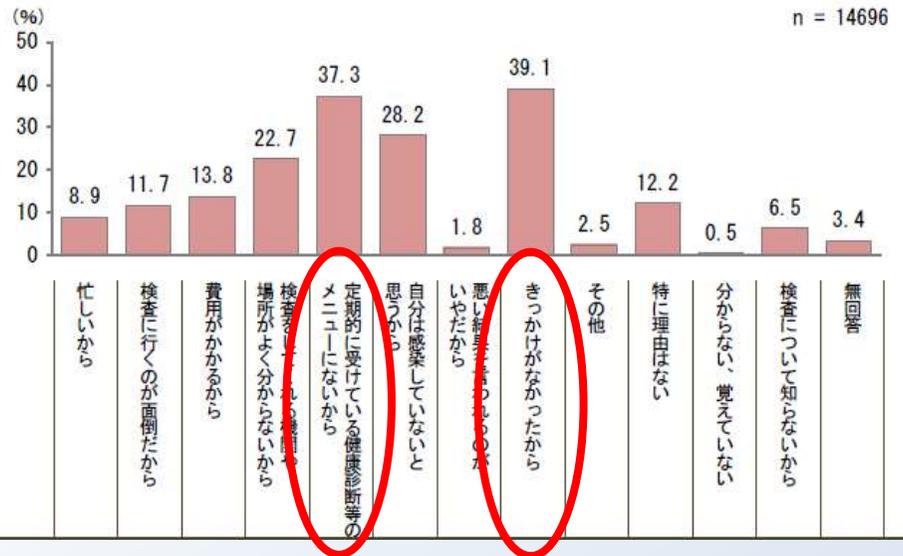
## 肝炎ウイルス検査を受検した経緯

問4 (a) 受検したきっかけはどのような理由ですか



## 肝炎ウイルス検査を受けていない理由

問5 (1) 検査を受けていない理由はどのような理由からですか



**きっかけ（健診のメニュー等）があれば受検者が増える可能性あり。**

# 地域実証プログラム

厚生労働省

## 広報チーム

肝炎総合対策推進国民運動事業（「知って、肝炎」プロジェクト）9600万円

厚生労働省の肝炎対策助成金事業として開始。平成24年7月から俳優・歌手 杉良太郎氏を特別参与として厚生労働大臣より任命し、杉特別参与から五代大使、徳光大使及びAKB48、EXILE等24団体をスペシャルサポーターとして任命し広報活動を進めており、平成26年度から地方自治体首長訪問を実施し、肝炎対策推進の起爆剤として実施している。

## 研究チーム

- ①陽性者フォロー研究（是永匡紹 国際医療研究センター）H26～28 4800万円  
「効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究」として、ウイルス検査後のフォローアップについて3つの研究班を統合して形成されているが主な内容は以下のとおり。  
○是永分科会：病院におけるフォローアップ体制を、電子カルテを活用して実現するため、電子カルテメーカーと一体となって、拠点病院を中心に実現中。  
○相崎分科会：自治体が絡んだ受検促進、陽性者の受診勧奨などによる患者のフォローアップシステムを実証中。  
○江口分科会：佐賀県が成果を得た健診機関を活用した受検促進や広報の検証などを静岡県など他県において実証中。陽性者のフォローが新たな課題としてあり、試行している。
- ②職域における配慮・就労支援研究（渡辺 哲 東海大学）H26～28 2400万円  
「職域におけるウイルス性肝炎患者に対する望ましい配慮及び就労支援に関する研究」として肝炎患者が就労しながら、治療を継続できるようにするための体制を検討している。産業医を活用したフォローアップ体制の確立を目指して、社内の産業医ネットワークを活用して実証を始める計画が数社で進行している。
- ③相談支援研究（八橋 弘 NHO 長崎医療センター）H26～28 4900万円  
「肝疾患患者を対象とした相談支援システムの構築、運用、評価に関する研究」として、患者の実態、悩みを相談支援に活かすための院内体制を検討している。最終的には差別偏見の解消が目的である。
- ④肝炎医療推進研究（正木尚彦 国際医療研究センター）H27 1000万円  
肝炎医療の質向上をめざし、その評価法の構築を行い、拠点病院を起点とした体制を強化できるものを実証している。
- ⑤疫学研究（田中純子 広島大学）H25～27 4000万円  
「急性感染も含めた肝炎ウイルス感染状況・長期経過と治療導入対策に関する研究」として、疫学調査を実施

連動

## 自治体チーム

行政による事業（自治体の支出が必須）  
肝炎に関するものを中心として、国からの補助金を活用した事業や自治体単独の事業等を用いて、肝炎対策の推進を図るプロジェクトを実施

連携

## 企業・団体チーム

組織の特性を活かした協力  
肝炎対策に資する組織協力を行う。必要に応じて知って、肝炎パートナー企業・団体に登録  
例) 結核予防会、JCHO、富士通、労働福祉協会 等

図1

# 全国・検診種別に応用可能な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステム確立

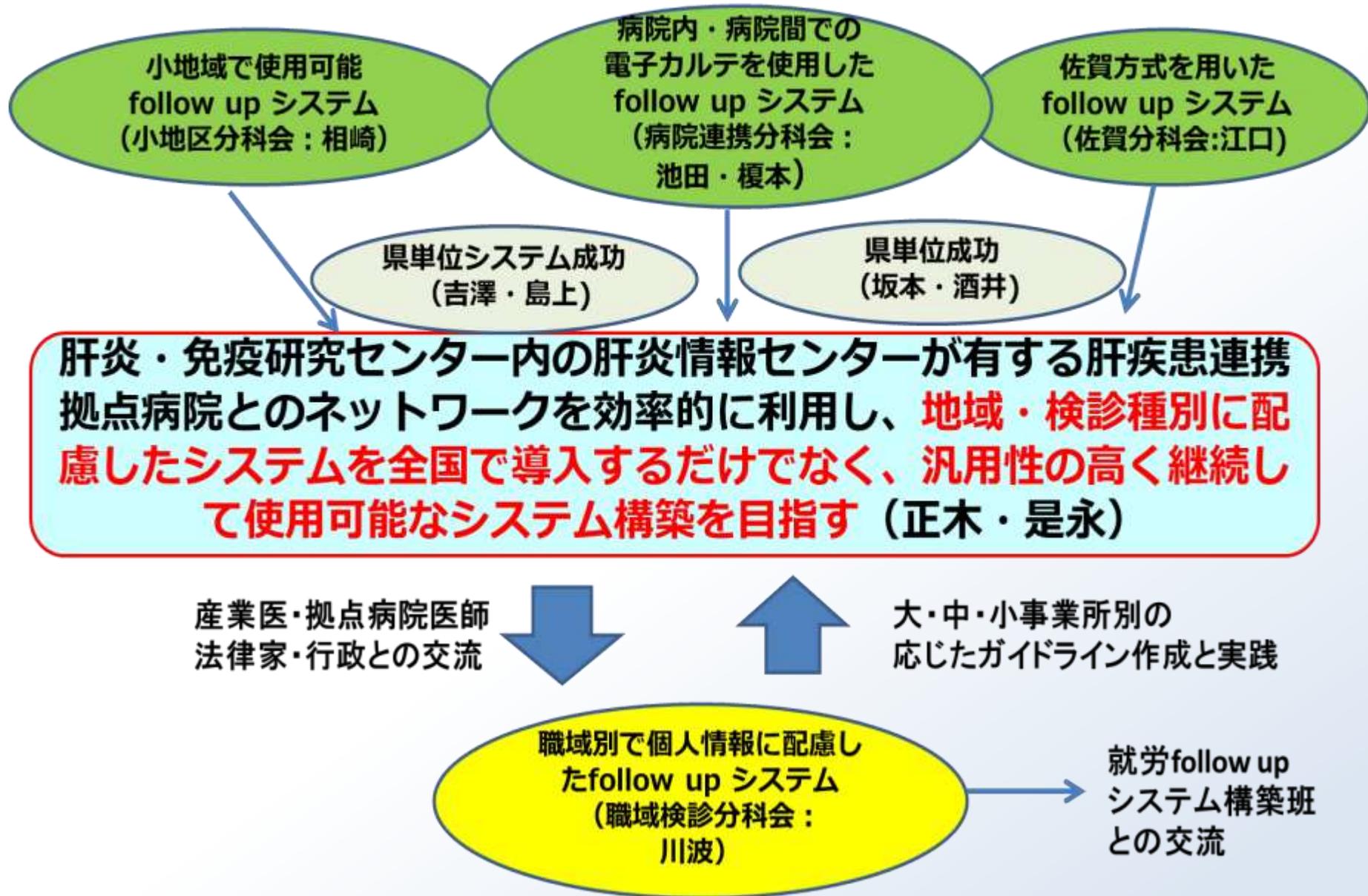
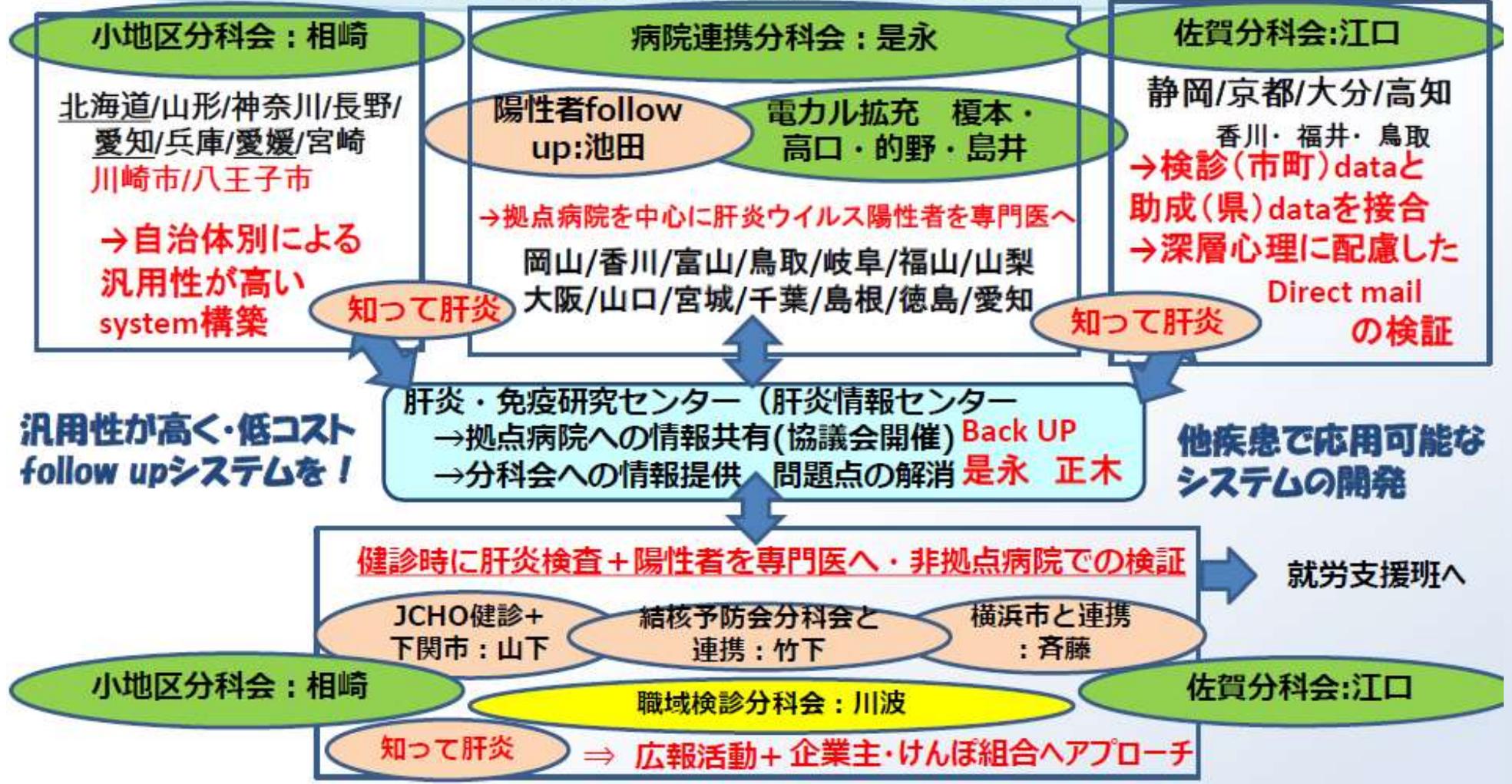


図2

# 全国・検診種別に対応可能な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステム確立 出来るだけ多くの肝炎ウイルス陽性者を治療舞台へ

県単位でfollow system 確立済み： 金沢・山梨・埼玉



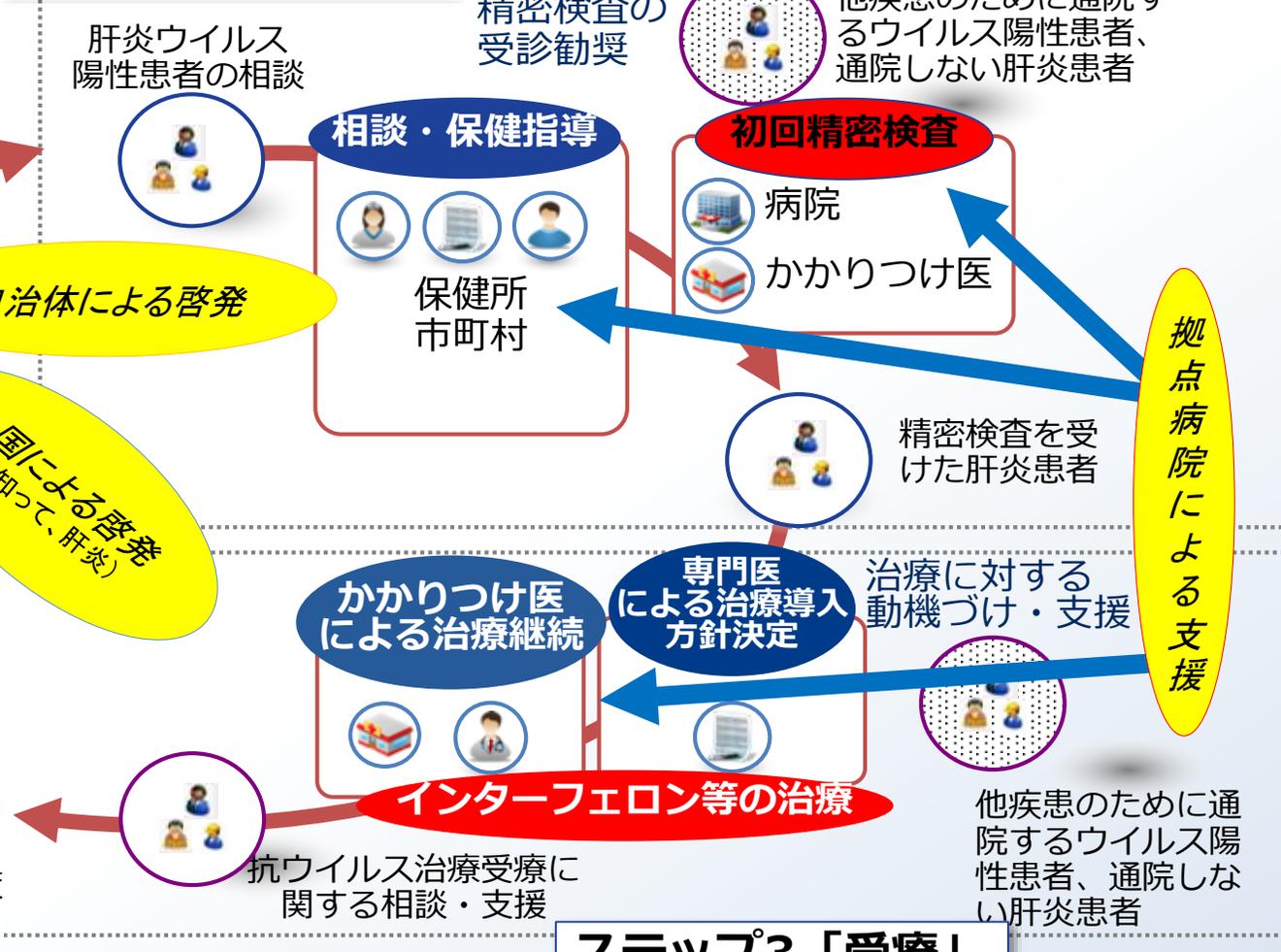
**働く人たちへ肝炎検査の機会を増加⇒独立型健診機関の活用**

# 肝炎対策のステップ

## ステップ1「受検」



## ステップ2「受診」



## ステップ3「受療」

ここまで辿り着いて初めて肝がんのリスクが減少する

# 知って、肝炎プロジェクト



## 大使・スペシャルサポーター



特別参与 杉 良太郎  
 特別大使 伍代 夏子  
 広報大使 徳光 和夫



「スペシャルサポーター」  
 石田 純一 貴乃花 光司  
 岩本 輝雄 高橋 みゆき  
 w-inds. 田辺 靖雄  
 上原 多香子 夏川 りみ  
 内山 高志 仁志 敏久  
 AKB48メンバー 平松 政次  
 EXILEメンバー 堀内 孝雄  
 小橋 建太 的場 浩司  
 コロケ 三浦 大輔  
 島谷 ひとみ 安田 美沙子  
 清水 宏保 山川 豊  
 瀬川 瑛子 山本 譲二



※敬称略



■ 広報動画 厚生労働省 YOUTUBEオフィシャルサイト

「知って肝炎 YOUTUBE」で検索 総再生回数は117万回を超える！



くわしい情報は、「知って、肝炎プロジェクト」ホームページをご覧ください。

知って、肝炎

検索

<http://www.kanen.org/>



# 大使・スペシャルサポーター 首長表敬訪問

東京都訪問 平成26年8月7日  
厚生労働省肝炎対策特別大使 伍代夏子氏による都庁訪問



## 「メディア露出」

- TVメディア(3番組)
- 新聞メディア(7紙)
- WEBメディア(30媒体)

## ■目的

- ・肝炎の「早期発見」について各自治体在住の方々に一斉訴求
- ・肝炎ウイルス検査の受検促進 「一生に一度は必ず受検を！」
- ・陽性者の早期治療開始喚起
- ・国内最大級の感染症「肝炎」の根絶へ

## ■実施内容

- ・「知って、肝炎」グッズ贈呈・杉良太郎特別参与メッセージの紹介
- ・訪問者メッセージ・首長コメント等



下関市訪問 平成27年2月19日  
スペシャルサポーター 山本譲二氏による下関市役所訪問



## 「メディア露出」

- TVメディア(3番組)
- 新聞メディア(5紙)
- ラジオ(1番組)
- WEBメディア(4媒体)

## 「その他サポート策」

- ・肝炎ウイルス検査促進のインフォーマーシャル放送
- ・肝臓専門医等によるテレビ・ラジオ番組出演



# 肝炎ウイルス検査の検査目的や検査結果に関わらず、受検者自身が検査結果を正しく認識できるよう医療提供者が適切な説明を行うこと

健疾発0423第1号  
平成26年4月23日

一般社団法人 日本病院会会長 殿

厚生労働省健康局疾病対策課長



## 手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明について

肝炎対策の推進につきましては、日頃から格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ウイルス性肝炎は、国内最大級の感染症と言われており、その対策を総合的に推進するため、平成22年1月、肝炎対策基本法が施行されました。同法に基づき、中長期的な肝炎対策の方向性等を定める肝炎対策基本指針（以下「指針」という。）が平成23年5月16日に告示され、これに基づく取組や周知を行ってきたところです。

(中略)

つきましては、肝炎ウイルス検査体制の整備、受診勧奨および普及啓発を効果的に推進するため、肝炎ウイルス検査の検査目的や検査結果に関わらず、受検者自身が検査結果を正しく認識できるよう医療提供者が適切な説明を行うことについて改めて御理解いただき、貴団体の会員への周知方お願いいたします。

# 術前検査等肝炎ウイルス検査陽性者への対応について ～スクリーニング検査結果説明の必要性～

平成19年8月24日 東京地裁判決

医師は診療に訪れた患者が、医師が通常有すべき医学的知見に照らして**他科領域における診察ないし検査が必要な状態にある**と認める場合には当該患者に対し、**他科の受診を勧めるべき義務**を負う。

⇒ 適切な診療等を受ける機会を失うことを回避するため

肝炎対策の推進に関する基本的な指針

(平成23年5月16日厚生労働省告示第160号)

第3 肝炎検査の実施体制及び検査能力の向上に関する事項

国及び地方公共団体は、医療機関に対し、**手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果について、受検者に適切に説明を行う**よう要請する。

受検者への  
結果報告義務あり

⇒

受検者への**適切な結果報告**がなされない  
(医療訴訟の火種になりうる)

# ○大 のシステム(A社)

・肝炎の検査結果が陽性の場合に内科受診を促すようにします。

感染症/検査結果

要受診勧告  受診勧告済 利用者: ( )

感染症	診断日	結果	コメント	治療	種別	歴
TP(TPLA)						
STS(RPR)						
HBs抗原	2013/03/26	0.3				歴
HBs抗体	2013/03/26	23.5			通常	歴
HBc抗体						歴
HBc抗体						歴
HBVDNA定量						歴
HCVコア抗原	2013/03/26	0.1			通常	歴
HCV抗体						歴
HIV抗体						歴
HIV抗体(VB)						歴
HIV抗体						歴
MRSA						歴
前住						歴
ガラ						歴
TPHA						歴

肝炎検査結果「HBs抗原」、「HBs抗体」、「HBc抗体」、「HBVDNA定量」、「HCVコア抗原」、「HCV抗体」に「+」が含まれる場合、結果到着時に「要受診勧告」をONにします。(手入力による変更は不可)

患者情報: 5歳1ヶ月 170.00cm 体重: —kg

血液型: \*\*型 Rh(\*) 未確定

ボタン: 感染 妊娠 授乳

【要内科受診】

先日の肝炎検査で陽性の判定が出ています。患者様に内科を受診することをおすすめ下さい。「肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め」はナビゲーションマップの「カルテ・オーダ」-「診療記録」-「肝炎ウイルス検査説明書」から起動して下さい。書類を印刷した方は責任をもって患者様に説明して下さい。既に受診している場合でも状況報告のため、「肝炎ウイルス検査結果ご説明後の対応確認」を作成して下さい。

「要受診勧告」がON かつ 「受診勧告済」がOFFの場合に内科受診を勧めるアイコンを患者バーに表示します。

・チェックをOFFにするタイミングについて

ナビゲーションマップ

ナビゲーションマップ

カルテ・オーダ 業務別

診療記録 予約 処方 注

診療記録

肝炎ウイルス検査説明書

肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め

2013/03/29

患者様へ、

「要受診勧告」をONにします。記載者、文書作成日時をプロフィール画面上に表示します。

感染症/検査結果

要受診勧告  受診勧告済 利用者: 教育系0018 (2013/03/29 01:17:21)

感染症	診断日	結果	コメント	治療	種別	歴
TP(TPLA)						
STS(RPR)						
HBs抗原	2013/03/26	0.3				歴
HBs抗体	2013/03/26	23.5			通常	歴
HBc抗体						歴
HBc抗体						歴
HBVDNA定量						歴
HCVコア抗原						歴
HCV抗体						歴
HIV抗体						歴
HIV抗体(VB)						歴

テスト 203

テスト 203

血液型: \*\*型 Rh(\*) 未確定

「肝炎ウイルス検査結果による検査のお勧め」を保存することで、「要受診勧告」をONにします。記載者、文書作成日時をプロフィール画面上に表示します。

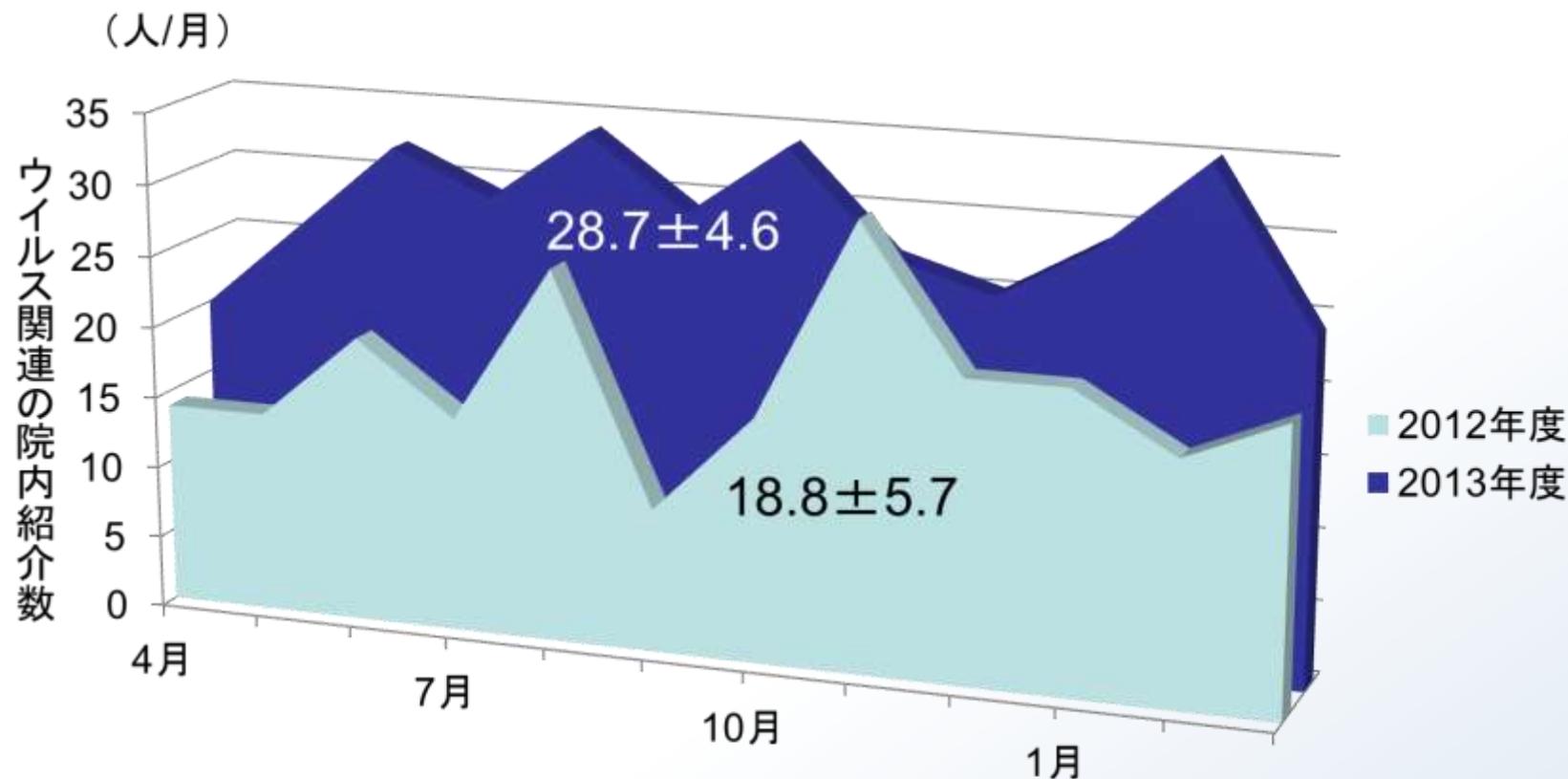
「受診勧告済」のチェックがONの場合はアイコンを表示しません。

池田分担員

導入済・決定: 8施設 検討中: 2施設

# 肝炎ウイルス関連の院内紹介数の推移

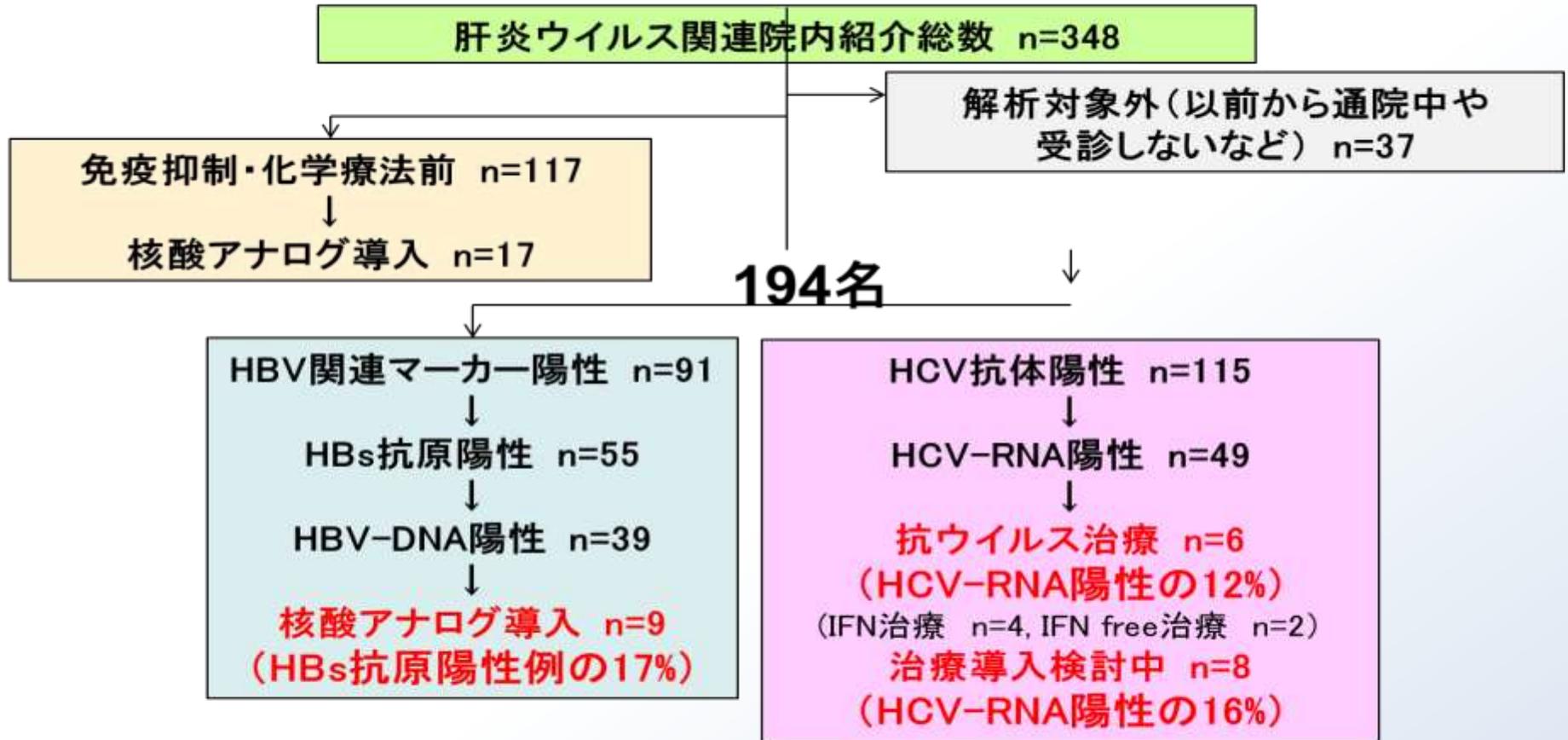
(最終)



**患者紹介数が増加！**

榎本分担員

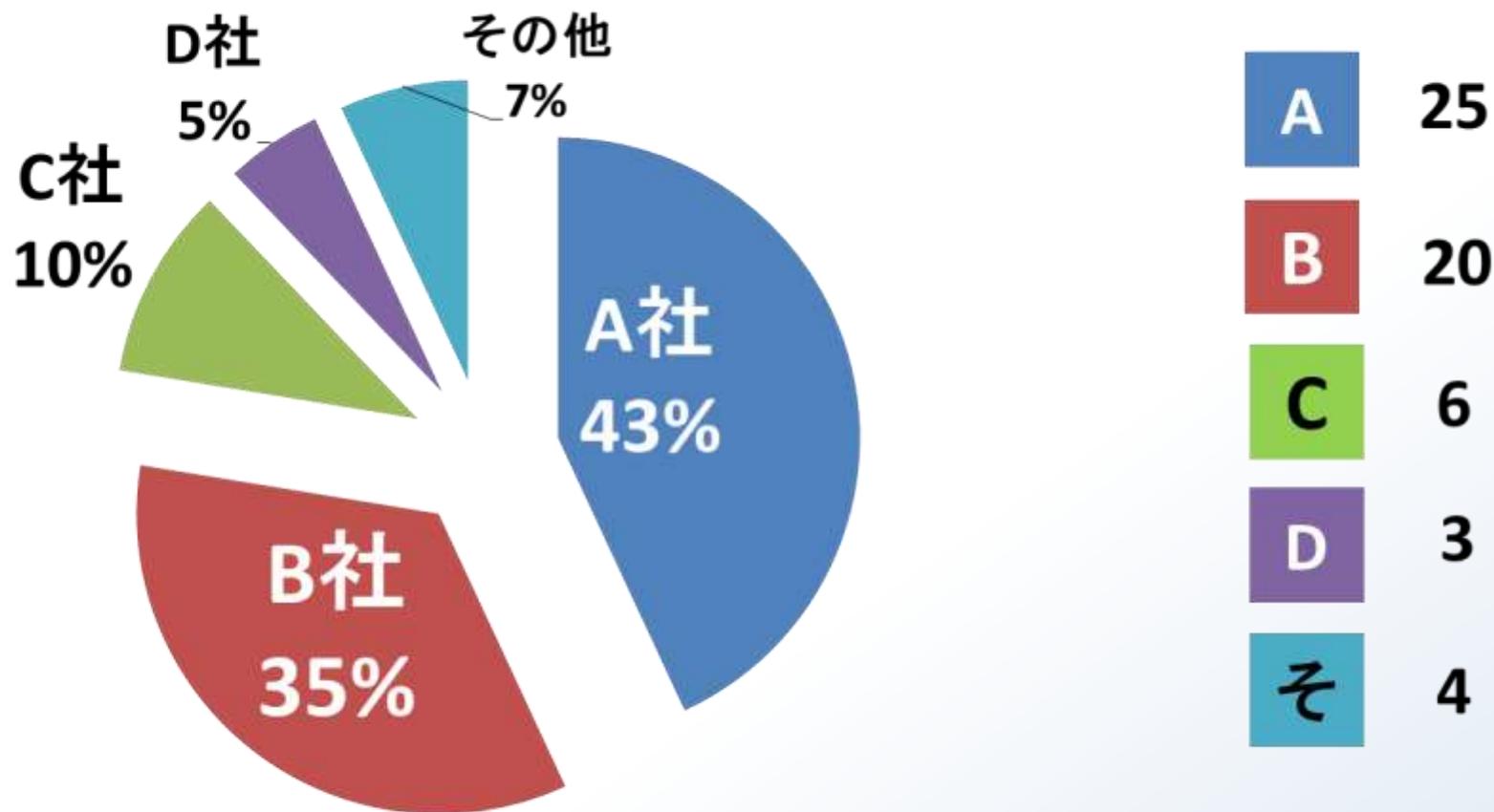
# 院内紹介患者から受療状態



肝硬変 n=6、肝細胞癌 n=2

肝硬変 n=8、肝細胞癌 n=4、静脈瘤 n=2

**23/194(12%)が治療対象例**



**B社/C社にも同様なシステム構築依頼  
拠点病院における陽性受診勧奨の成功⇒全国展開へ**

# 他社での電子カルテアラートシステム構築

## 肝炎対策関連改造提案 1

特定の検査にて検査異常値が出た場合、指示医及び、特定ユーザにコミュニケーション通知を行う

### 現状の課題

検査結果異常値の見逃しにより、肝炎患者の早期発見が遅れる

### 期待される効果

検査結果異常値の通知をオーダーした医師と肝炎担当で確認し、見逃しを防ぐことができる

①夜間に当日の検査結果値を検索

②自動でオーダーした医師と特定ユーザへコミュニケーションメールを送信

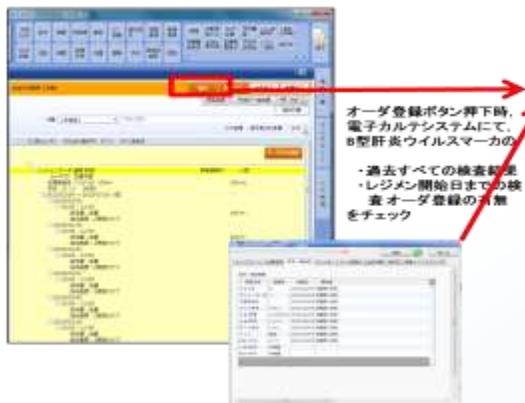
③オーダーした医師と特定ユーザはコミュニケーションボタンが点灯し検査結果の異常値が出たことを確認



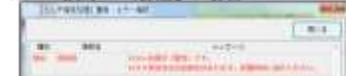
**B社：検査陽性者を管理者へ即日通知**

## B型肝炎ウイルス再活性化予防システムの仕組み

### レジメンの登録時



※HBs抗原が「陽性」の場合



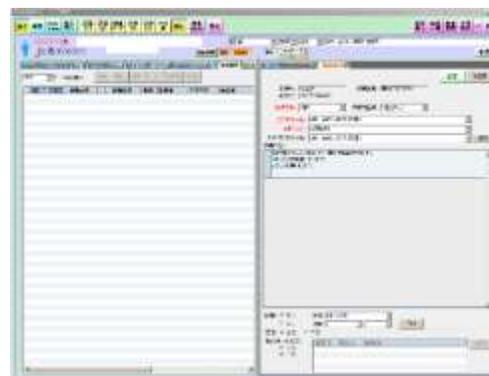
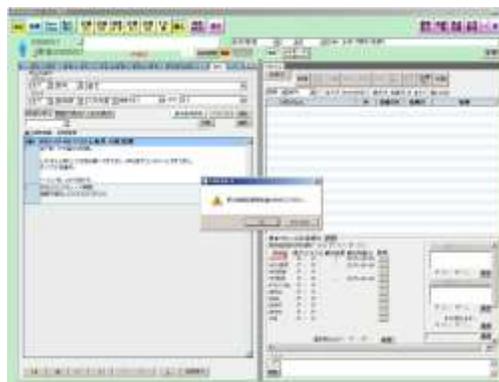
※HBs抗体またはHBc抗体が陽性で、HBV DNA定量が「2.1」以上の場合



※HBs抗体またはHBc抗体が陽性で、HBV DNA定量が「2.1」未満の場合



※過去30日の検査結果が無く、レジメン開始日までに検査オーダーが登録されていない場合

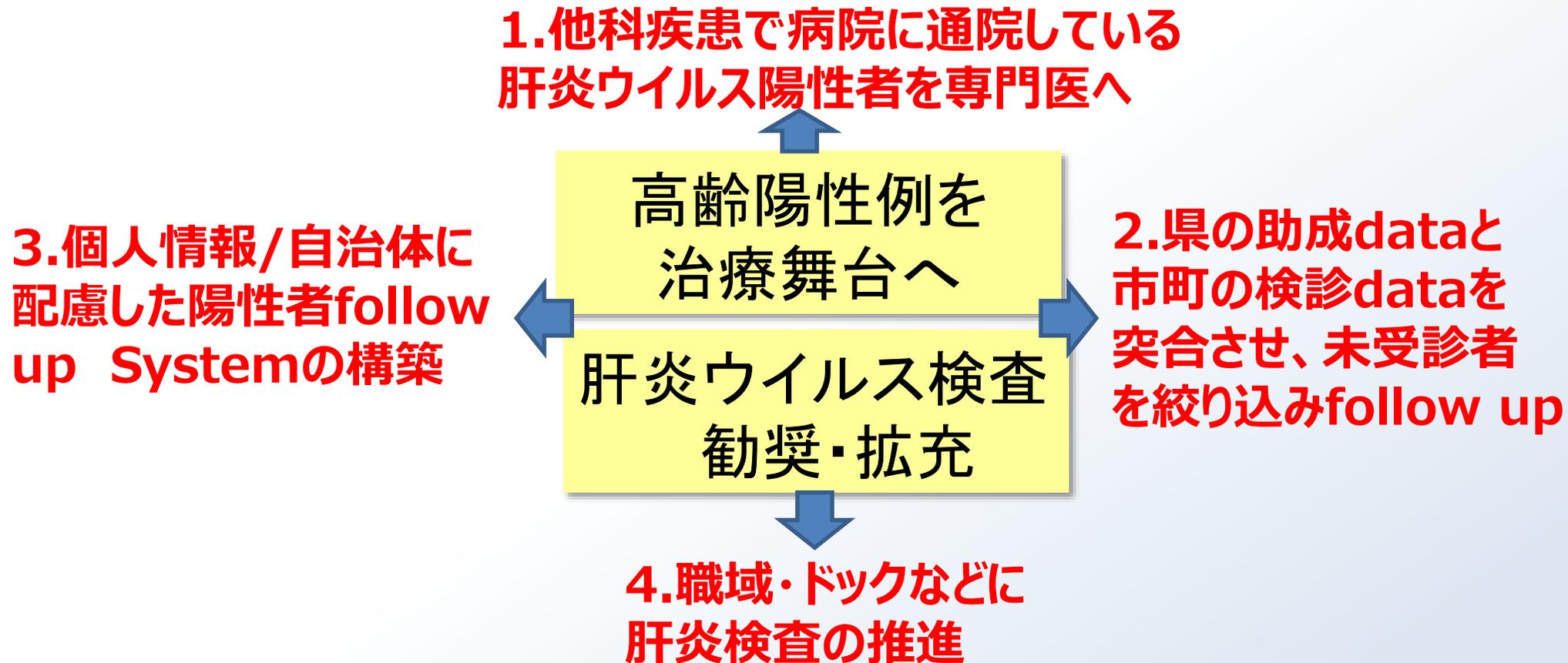


**C社：岡山方式を改良し  
紹介所作成機能も自動化  
受診の有無もリアルタイムに  
検索可能**

**D社：HBV再活性化をtargetに、免疫抑制剤や抗ガン剤(指定可) order時に検査アラートシステムが起動**

# 手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明について

肝炎ウイルス検査の検査目的や検査結果に関わらず、受検者自身が検査結果を正しく認識できるよう 医療提供者が適切な説明を行うこと



# 啓発事業展開

## ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査  
の受検率向上

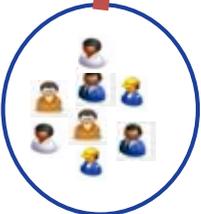
肝炎ウイルス検査

かかりつけ医

健診機関

健康講話  
啓発イベント

1)



県内の肝炎ウイルス検査の  
未受検者

## ステップ2「受診」

精密検査の  
受診勧奨

相談・保健指導



肝炎ウイルス  
陽性患者の相談

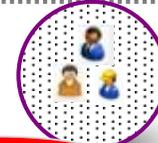


保健所  
市町村

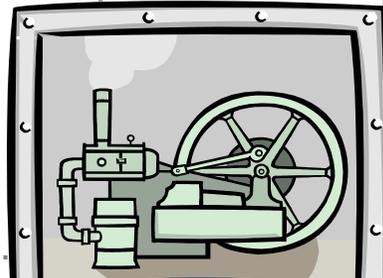
初回精密検査

病院

かかりつけ医



他疾患のために  
通院するウイル  
ス陽性患者、通  
院しない肝炎患  
者



啓発

国、自治体  
拠点病院

かかりつけ医  
による治療継続

専門医  
による治療導入  
方針決定

3)

治療に対する  
動機づけ・支  
援

拠点病院による支援

インターフェロン等の治療



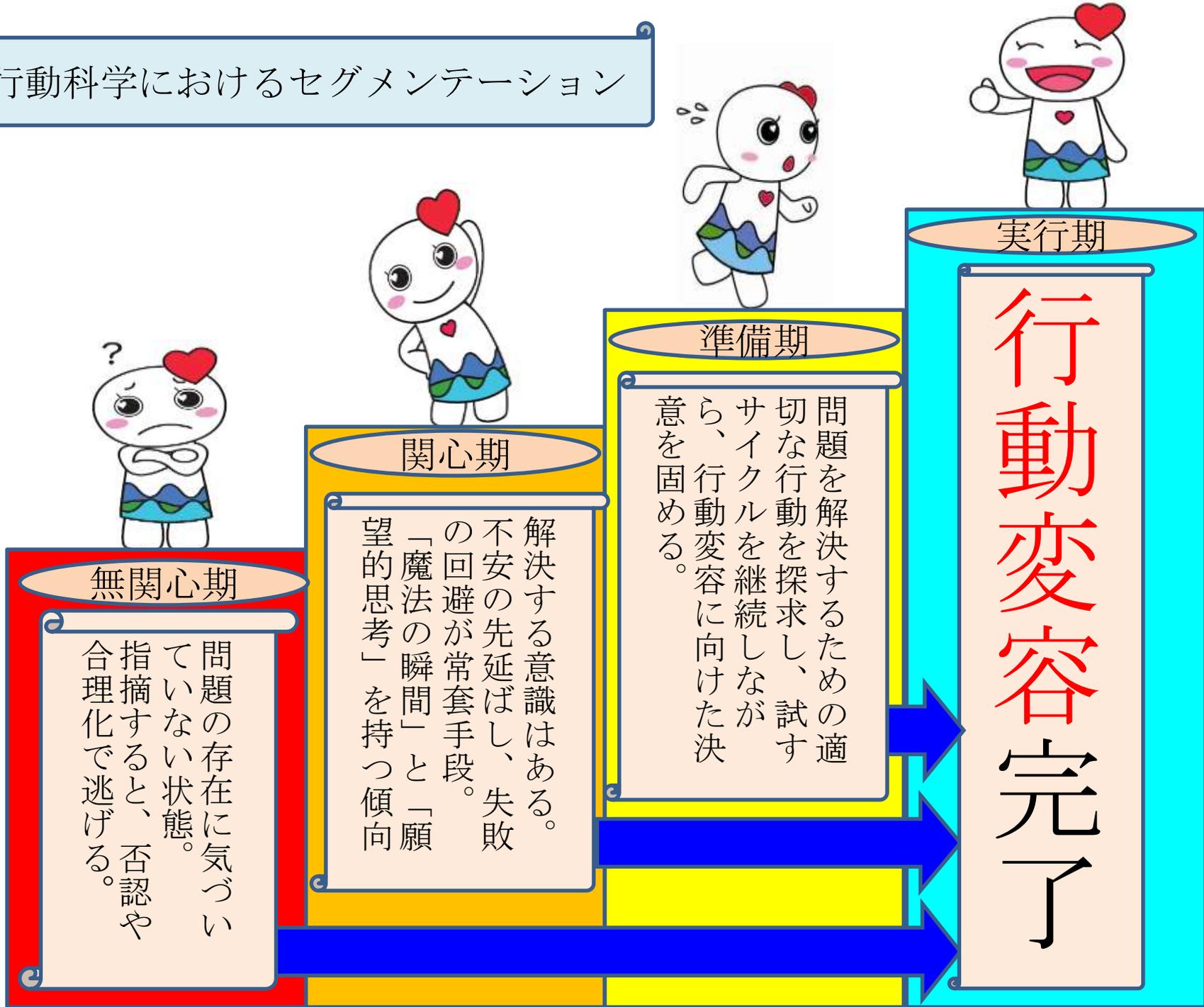
治療  
進展防止策  
定期観察

## ステップ3「受療」

抗ウイルス治療受療に  
関する相談・支援

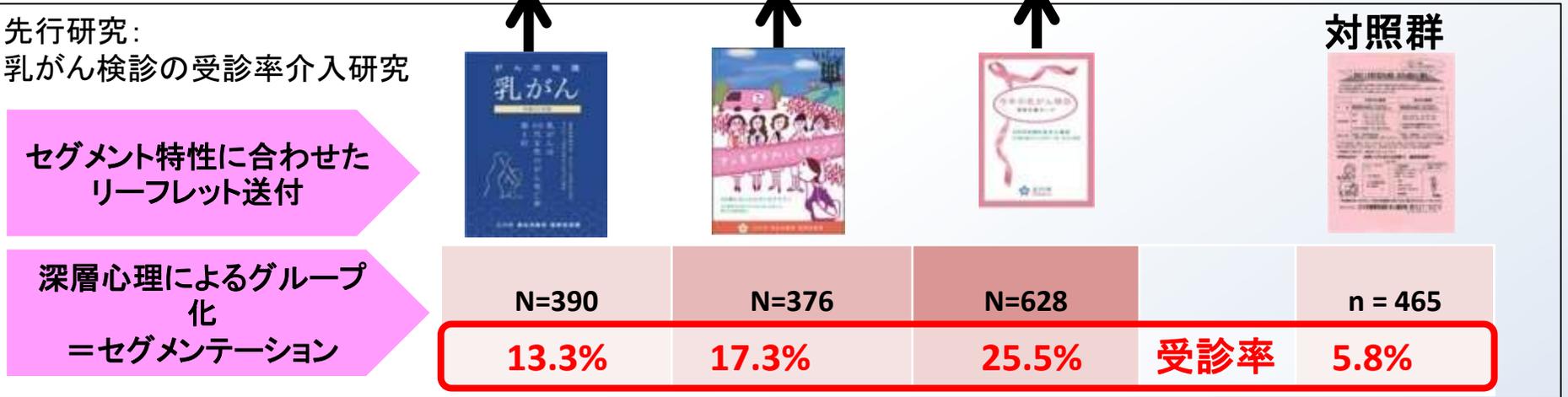
他疾患のために通  
院するウイルス陽  
性患者、通院しな  
い肝炎患者

# 行動科学におけるセグメンテーション



# 効果的な受診勧奨：社会行動医学的研究

## → 勧奨の手法の選択・メッセージの開発のための科学的アプローチ



乳がん検診のエビデンス：  
対象者の深層心理を考慮した受診勧奨介入を行うと受診率が上がる

Ishikawa Y, Hirai K, Saito H, et al. Cost-effectiveness of a tailored intervention designed to increase breast cancer screening among a non-adherent population: a randomized controlled trial. BMC Public Health. 2012

# 届けるべき人\*に響くメッセージを伝えることが 行動変容に効果的→「ソーシャルマーケティング」

調査前の仮説

**治療の負担**が障害となり、陽性とわかっていても治療に至らない

調査結果（質的調査＋量的調査および行動心理学的解析）

**心理的な要因**「**重大性・必要性・緊急性**」を認知していない

効果的に受療を促進するためには、  
医療のみならずマーケティングの理論を  
応用して、対象者に合わせた情報発信が不可欠

**精検・治療を思いとどまっている陽性者に必要な理解**  
**「必要性」・「重大性」・「緊急性」の訴求**

## 研究班の取組：量的・質的調査結果

未受療者にとっての“治療”

「臓器にできた悪いものを手術して取る」

VS

ウイルス性肝炎  
の場合の想定で  
きる認識

ウイルスに感染した臓器から  
ウイルスを駆除する

悪いものを退治する“たたく”という言葉が、  
未受療者の肝炎治療のイメージに近いことが判明

# ソーシャルマーケティングを用いた、肝炎ウイルス陽性者受診啓発リーフレット

## たたけ！ 肝炎ウイルス



肝がんを防ぐために、  
あなたができる唯一の方法です。

肝炎ウイルスは、放っておいても消えません。  
それどころか、肝炎、肝硬変、肝がんへと  
進む原因になります。

一人で悩んでいないで、まずは 肝臓なんでも相談窓口へお電話ください。

月～金（祝日を除く）  
10:00～16:00

**0952-34-3731**（佐賀大学医学部  
肝疾患センター内）



「私の近くの病  
「肝炎ウイルス  
「どんな方法があ  
「お金はかかる  
気になること、  
肝臓なんでも相  
おたすねくだ

県内自治体、保健所へ配備

佐賀県内の18の自治体から把握する  
HCV抗体陽性者に個別郵送（関心期・  
準備期層へのCall）

肝炎ウイルスは、気づかいうちに肝がんに進む原因です。

「肝炎ウイルスに感染しているといっても、まだ病気  
ではないし、病院に行く必要はないでしょ？」と  
お考えなら、それは間違いです。肝臓の病気が  
怖いのは、肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれるほど  
がまん強く、自覚症状がないまま、肝炎、肝硬変、  
肝がんへと進んでしまうことです。  
大変な治療が必要になる前に、医師に相談を。

肝炎ウイルスから発症する病気



正常 ▶ 慢性肝炎 ▶ 肝硬変 ▶ 肝がん

場合によっては、肝臓から発症肝がんを予防することもあります。

自覚症状がない今なら、肝炎ウイルスをたたけます。

この数年で肝炎ウイルスの薬は急速に進化しています。事実、肝炎が進行してしまった人も  
含めて、9割近く治せるようになってきました。むしろ、肝炎ウイルスを早くやっつけて、  
肝がんを防ぐことが大切です。自覚症状が出てからでは、肝臓がかなりダメージを  
受けているので、治療に耐えられなくなります。

まずはかかりつけ医、または専門医に相談を。

血液検査やエコー検査で、あなたの肝臓がどれくらいあぶない状態かを調べ、  
次のステップを相談しましょう。薬が必要な場合は、あなたに合った薬を提案します。

今なら、県から助成金が出ます。

検査費の自己負担額のうち上限5,000円の助成があります。（医療保険3割負担の場合）



一人で悩んでいないで、まずは  
肝臓なんでも相談窓口へお電話ください。

**0952-34-3731**

月～金（祝日を除く）10:00～16:00

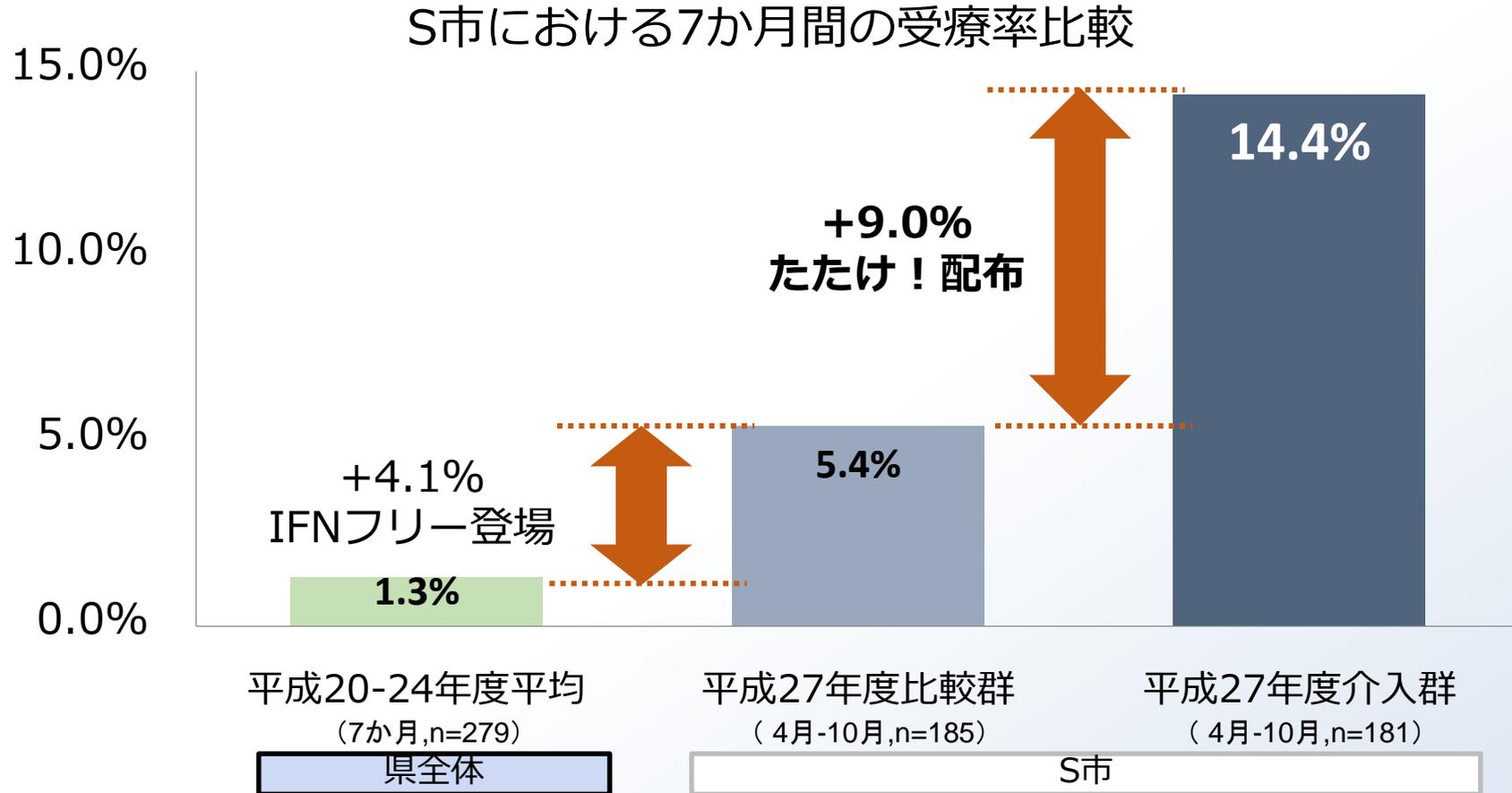
佐賀県 健康増進課 がん対策推進担当

TEL:0952-25-7074 FAX:0952-25-7268

佐賀大学 医学部附属病院 肝疾患センター

TEL:0952-34-3010 FAX:0952-34-2094

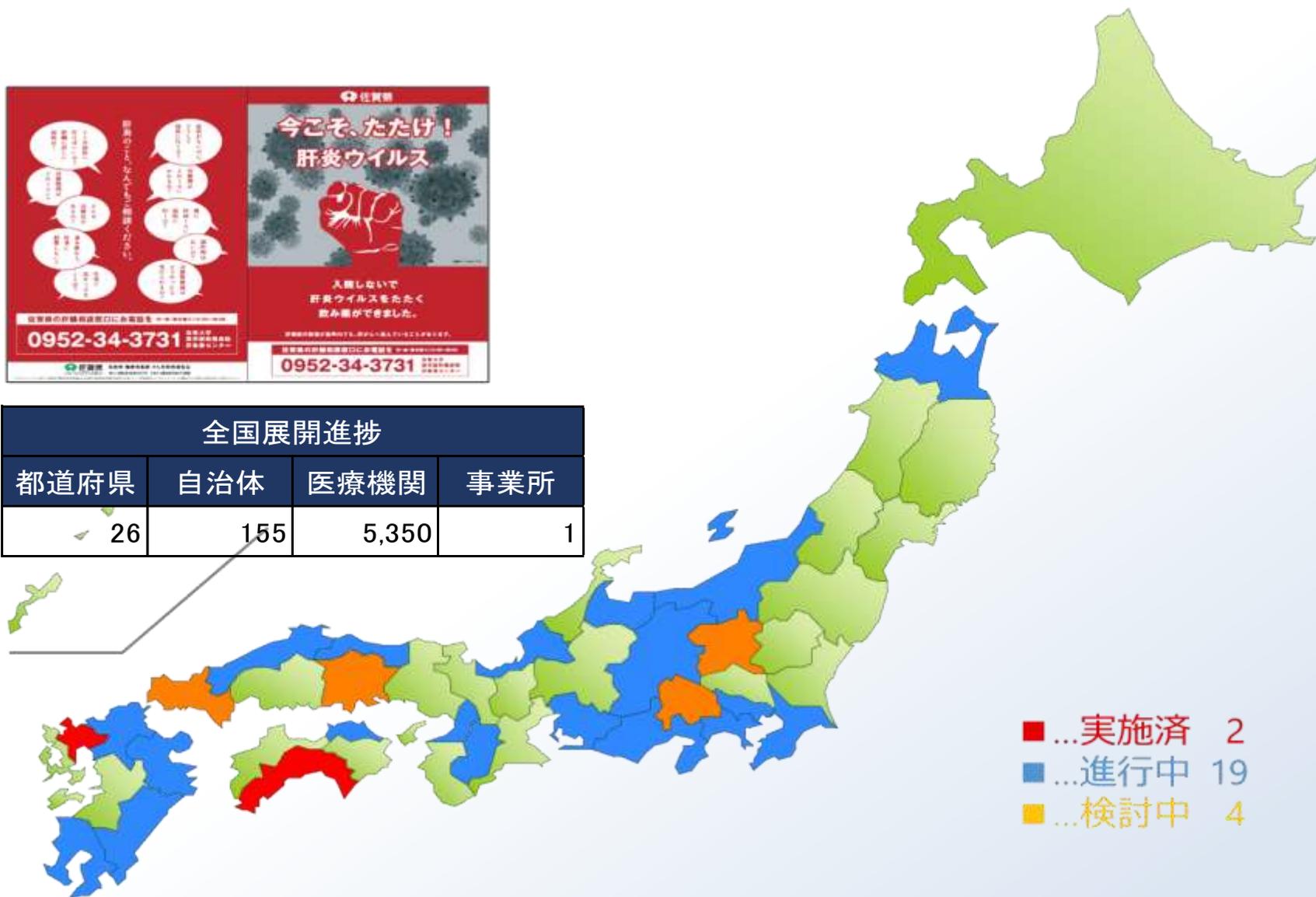
# リーフレット送付後受療率が上昇



# 「たたけ！ 肝炎ウイルス」 全国展開状況

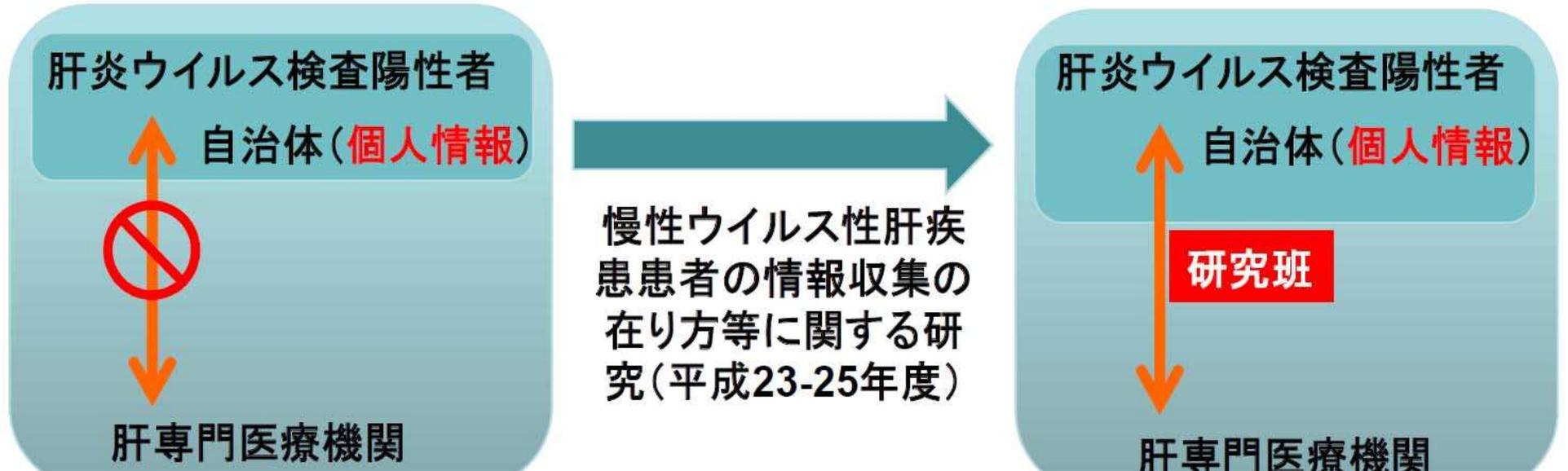


全国展開進捗			
都道府県	自治体	医療機関	事業所
26	155	5,350	1



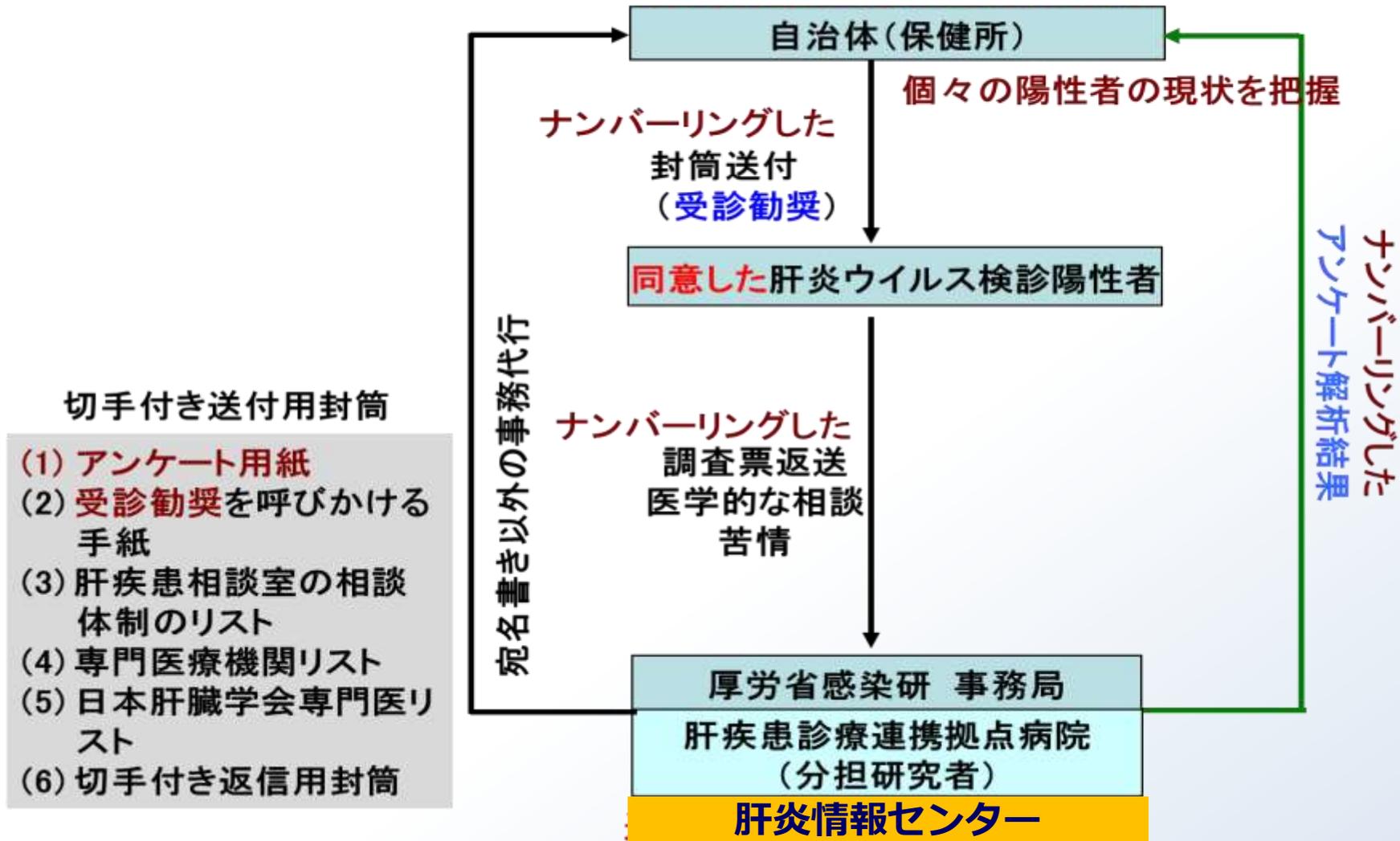
- ...実施済 2
- ...進行中 19
- ...検討中 4

# 高度な個人情報のためfollow upが難しい その解消に！



# 陽性者フォローアップシステム

陽性者の個人情報自治体が保管



陽性者の個人情報は自治体が管理するシステムから、同意書を取ることで、委託機関でも直接フォローアップできるようになった。

# 効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究

自治体における  
フォローアップ

県と交渉

埼玉医大(埼玉県)

独自方式

診療ネットワーク  
山梨大(山梨県)

市町村と交渉

兵庫医大(兵庫県西宮市)

現状把握

愛知医科大(愛知県)

信州大学(長野県市町村)

山形大学(山形県)

宮崎大学(西都、宮崎、都城、延岡、小林、えびの市、三股町)

フォローアップ方法を決定

愛媛大学(愛媛県)

宮崎大学(日向、日南市)

名市大(愛知県名古屋市)

調査票の配布

聖マリアンヌ医大(川崎市)

調査票の回収と解析

北大(北海道札幌市)

個人受診勧奨

名大(愛知県豊橋市)

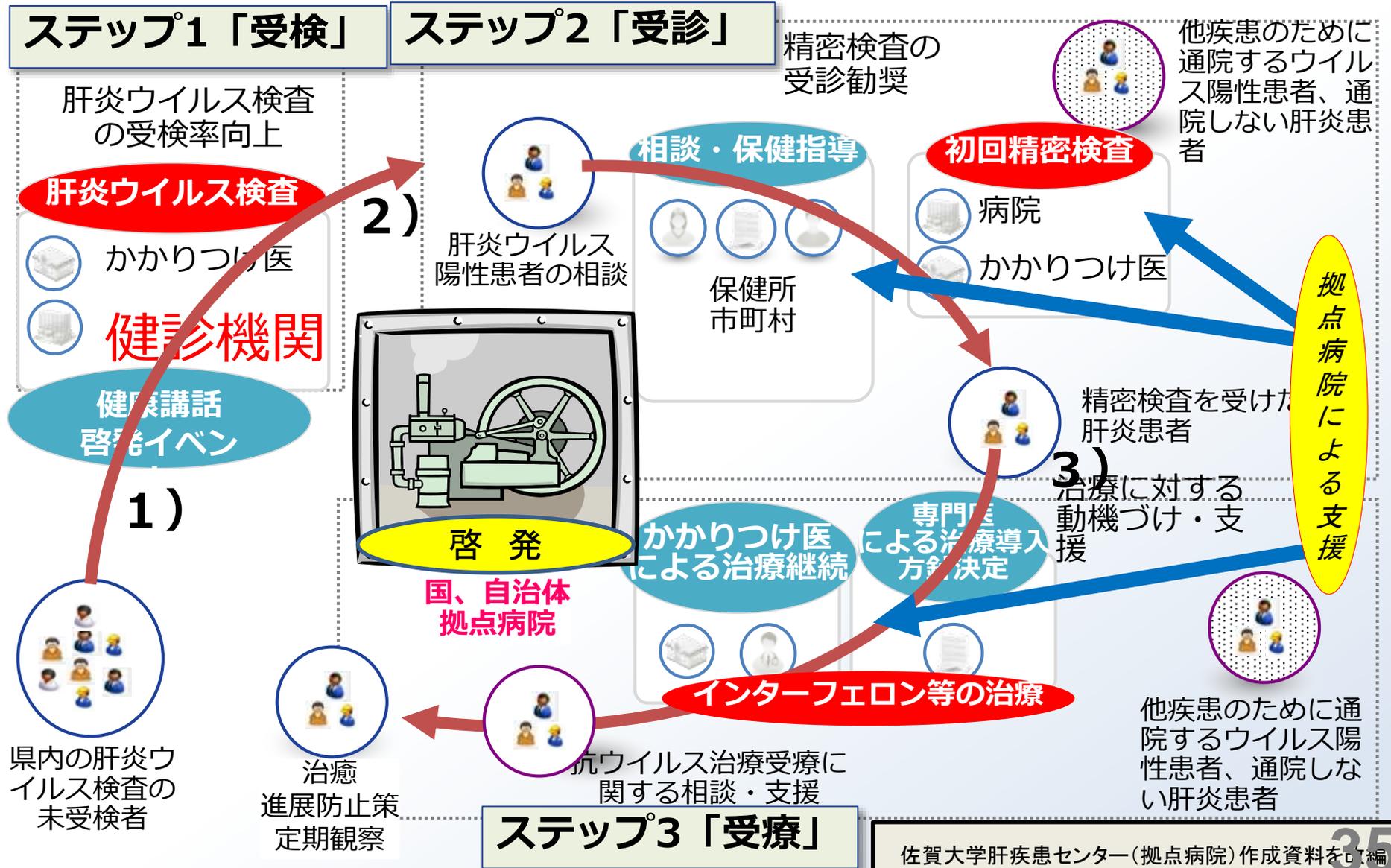
同意を得て研究班で管理  
同意率の向上

藤田保健(愛知県岡崎市)

金沢大学(石川県)

# 職域健診利用

## 啓発事業展開



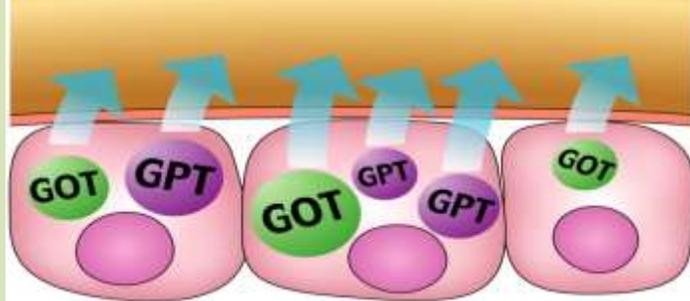
# 肝炎ウイルス検査経験済みの勘違い

肝機能検査 AST (GOT), ALT (GPT)

■肝細胞が傷つくと細胞内のGOT, GPT が漏れ出して、血管内に移行する。

■GOT, GPT (特にGPT) は他の臓器にあまり含まれていないため、その血液中の高さは肝障害を反映。

■細胞膜の障害程度を反映する。



愛媛大学 日浅陽一教授資料改変

肝炎ウイルス感染確認に

は、  
肝炎ウイルス検査が必

要!!!

## いわゆる職場健診の項目

(安全衛生法第66条第1項に定める一般健康診断)

- ① 既往歴・業務歴
- ② 自覚症状・他覚症状
- ③ 身長、体重、腹囲、視力、聴力
- ④ 胸部X線、喀痰検査
- ⑤ 血圧
- ⑥ 貧血
- ⑦ 肝機能 (ALT, AST,  $\gamma$ -GPT)
- ⑧ 血中脂質 (LDL, HDL, TG)
- ⑨ 血糖
- ⑩ 尿検査
- ⑪ 心電図

健康診断受けてい  
るから大丈夫？

一般的な健診で  
実施する項目では、  
肝炎ウイルスの感染は  
わかりません！



## いわゆる職場健診の構造

法定外事項	<p><b>受診者が任意で選ぶ健診</b>                  (オプション検査として受診者が自ら選ぶ健診項目)  <b>肝炎ウイルス検査</b> など</p>	受診者に結果送付
	<p><b>保険者等が費用補助対象としている健診</b>                  (人間ドックにメニューとしてセットされている健診項目)                  がん検診 など</p>	
法定事項	<p><b>安全衛生法第66条第2項及び第3項に規定する健康診断</b>                  (有害業務に従事する人に対する健診)                  安全衛生法施行令で定める業務に関連する検査項目等</p>	雇用者・受診者に結果送付
	<p><b>安全衛生法第66条第1項に定める一般健康診断</b></p> <p>①既往歴・業務歴 ②自覚症状・他覚症状                  ③身長、体重、腹囲、視力、聴力                  ④胸部X線、喀痰検査 ⑤血圧 ⑥貧血  <b>⑦肝機能(ALT,AST,γ-GPT)</b>                  ⑧血中脂質(LDL,HDL,TG) ⑨血糖 ⑩尿検査 ⑪心電図</p>	



# 肝炎ウイルス検査の検診機関での実施状況

## 自治体での実施状況

	委託契約済の自治体数	うち検診実績有の自治体数
都道府県	9/47	9/47
政令市	12/20	12/20
中核市	19/51	17/51
特別区	11/23	10/23
計	51/141 (36%)	48/141 (34%)

## 自治体における主な取組例

### ①岩手県 493人 (H25)

- (1) 検診機関 公益財団法人 岩手県予防医学協会
- (2) 実施方法 当該検診機関に定期的健康診断を申し込んだ事業所等のうち、肝炎ウイルス検査の実施を希望する事業所の従業員に対し、健康診断実施時に合わせて肝炎ウイルス検査を実施。

### ②佐賀県 9,006人 (H25)

- (1) 検診機関 佐賀県医師会、総合保健協会、多久臨床検査センター、産業医学協会、唐津東松浦医師会
- (2) 実施方法 事業所の健康診断(労安法)にあわせて検診機関から勧奨を実施。

### ③さいたま市 15,672人 (H25)

- (1) 検診機関 (一社)大宮医師会、(一社)浦和医師会、(一社)さいたま市与野医師会、(一社)岩槻医師会
- (2) 実施方法 医療機関での個別検診を実施。

### ④那覇市 1,965人 (H25)

- (1) 検診機関 医療機関等97ヶ所
- (2) 実施方法 特定検診等と肝炎ウイルス検診を同日に行う同時実施と、肝炎ウイルス検診のみを行う単独実施がある。



2015年10月14日(水)開催

# 経営者・総務 人事担当者向け セミナー開催

場所

**ドーンセンター**

(大阪市中央区大手前 1 丁目 3 番 49 号)

# 健康経営銘柄

「健康経営銘柄」は、従業員の健康に関する取組が経営基盤から現場施策まで様々なレベルにおいて、連動・連携しているかを重視し、以下の視点で検討されています。

- ①「経営理念・方針」
- ②「組織・体制」
- ③制度・施策実行
- ④「評価・改善」
- ⑤法令遵守・リスクマネジメント

肝炎ウイルス検査も  
評価項目に滑り込み！

なお、ROEによる財務スクリーニングを経て「健康経営銘柄」が選定されています。

ROE: 株主資本利益率といい、企業の収益性を図る資本です。株主資本が企業の収益にどれだけ繋がったかを示し、

$ROE(\text{株主資本利益率}) = 1\text{株あたりの利益}(\text{EPS}) \div 1\text{株あたりの株主資本}(\text{BPS})$

$1\text{株あたりの利益}(\text{EPS}) = \text{当期純利益} \div \text{発行済み株式数}$

$1\text{株あたりの株主資本}(\text{BPS}) = \text{株主資本} \div \text{発行済み株式数}$

アサヒホールディングス(食料品)、東レ(繊維製品)、花王(化学)、  
ロート製薬(医薬品)、東燃ゼネラル石油(石油石炭製品)、  
ブリヂストン(ゴム製品)、TOTO(ガラス・土石製品)、神戸製鋼所(鉄鋼)、  
コニカミノルタ(電気機器)、川崎重工業(輸送用機器)、テルモ(精密機器)、  
アシックス(その他製品)、広島ガス(電気・ガス業)、東京急行電鉄(陸運業)、  
日本航空(空運業)、SCSK(情報・通信業)、丸紅(卸売業)、ローソン(小売業)、  
三菱UFJフィナンシャル・グループ(銀行業)、  
大和証券グループ本社(証券・商品先物取引業)、第一生命保険(保険業)、  
リンクアンドモチベーション(サービス業) ~22銘柄~

# 「知って、肝炎プロジェクト」国民運動パートナー企業

「知って、肝炎プロジェクト」事務局が  
パートナー企業の啓発活動をサポート



[今期新規加入]

株式会社SUMCO九州事業所  
みらかホールディングス株式会社

全日本労働福祉協会

結核予防会

富士通株式会社

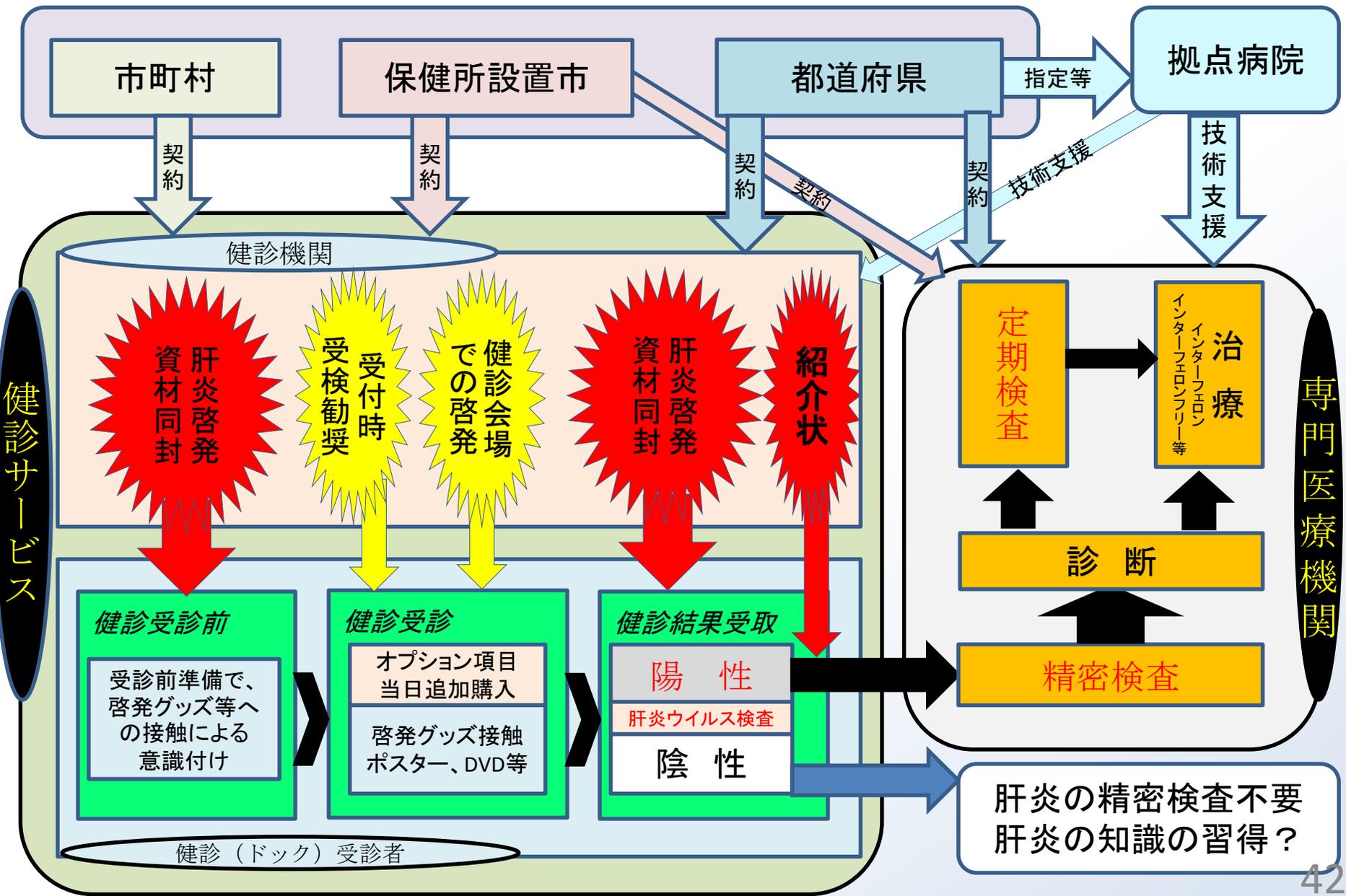
ロイヤルホテル健康保険組合

日本電気株式会社

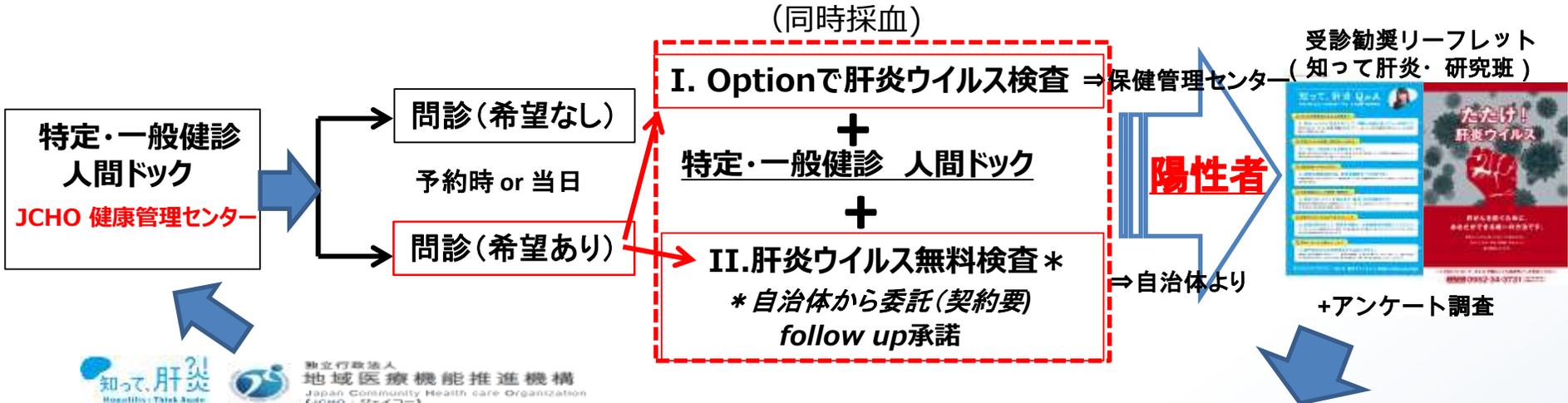
シスメックス株式会社

※現在23社・5団体が加入

# 独立型健診機関活用イメージ



健康管理センター での肝炎ウイルス検査から陽性者follow up (2,3次医療機関)



JCHO第2,3次医療機関へ受診を指示  
抗ウイルス治療導入へ

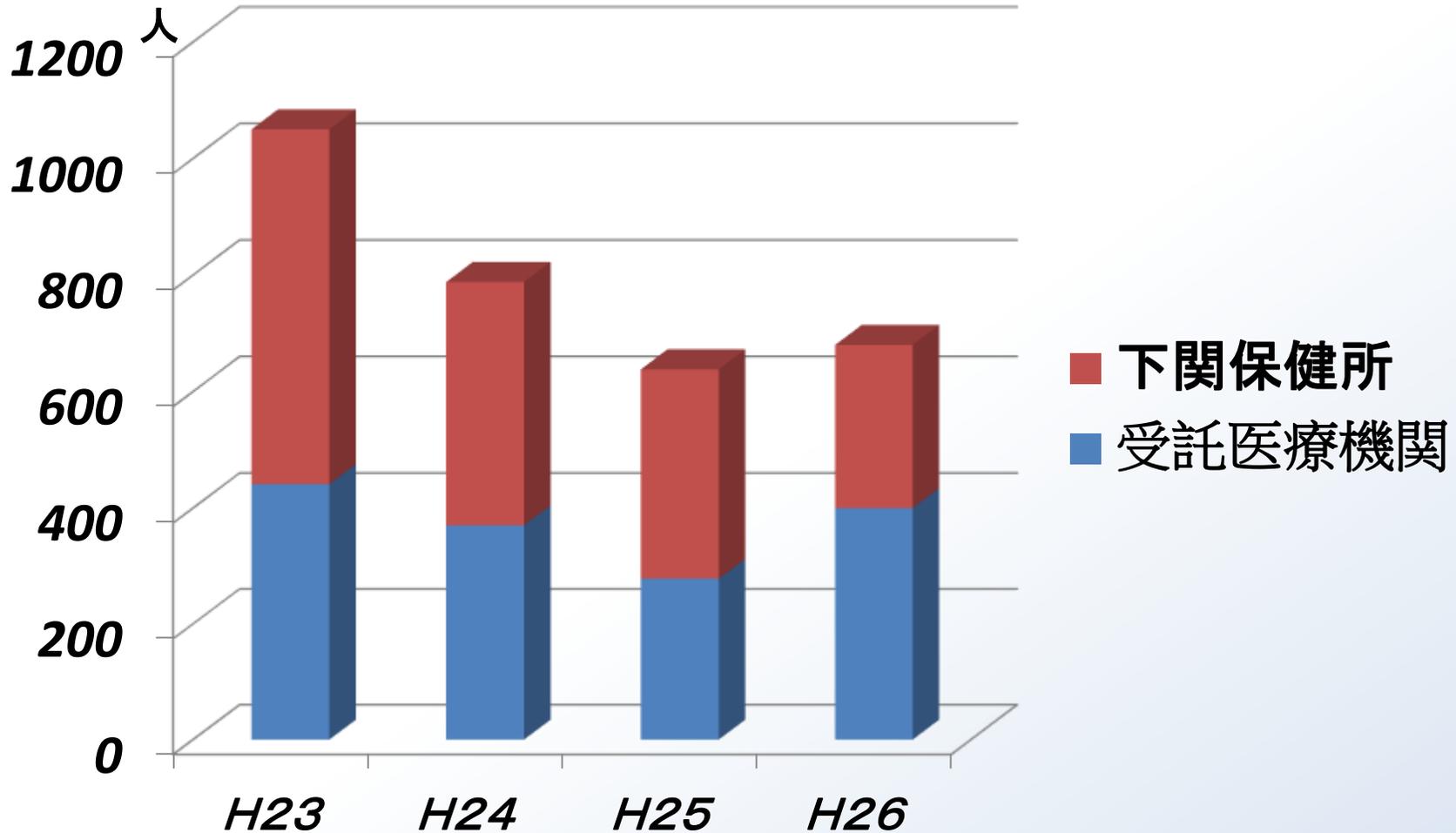


下関

JCHO第2次医療機関と肝疾患連携拠点病院連携  
(肝疾患相談室への連絡体制確立) 横浜

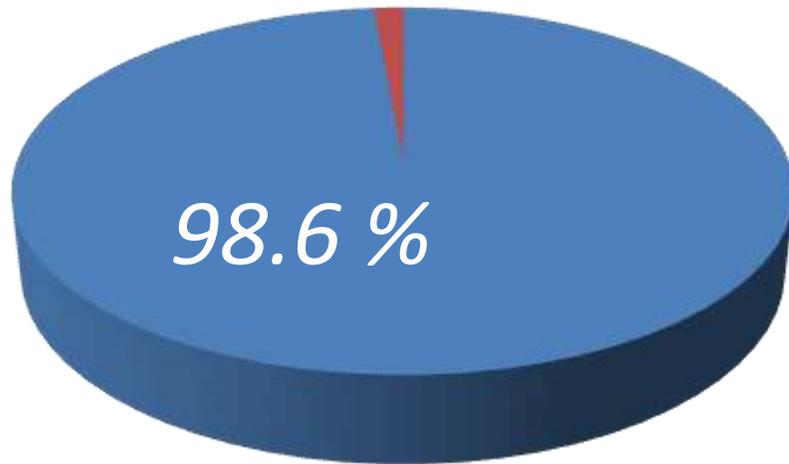
- ① 特定施設Option検査無料化(Cancer Scan)  
⇒リーフレットの有無で受診率増加の有無

# 肝炎無料検診 S市実施数

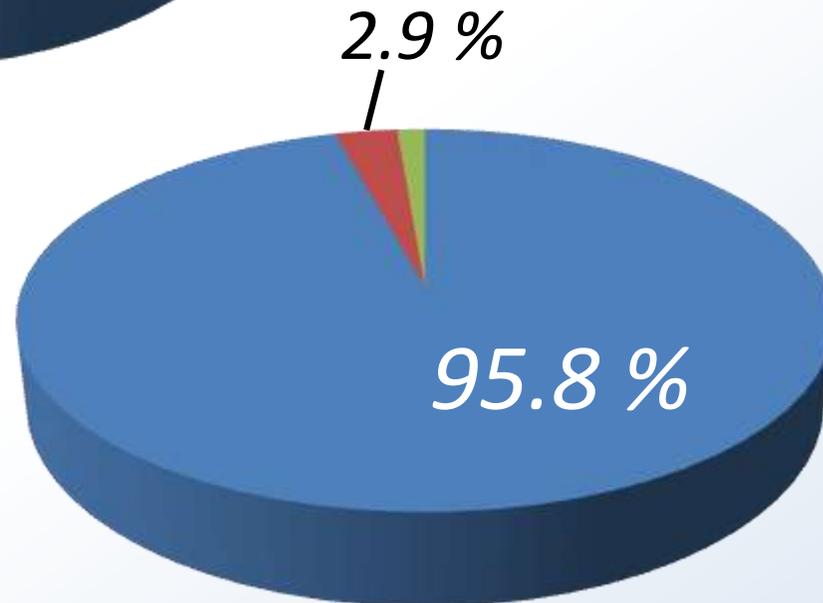


# Sセンター付属健康管理センター 平成26年度健診集計

(1,964事業所、25,791人)

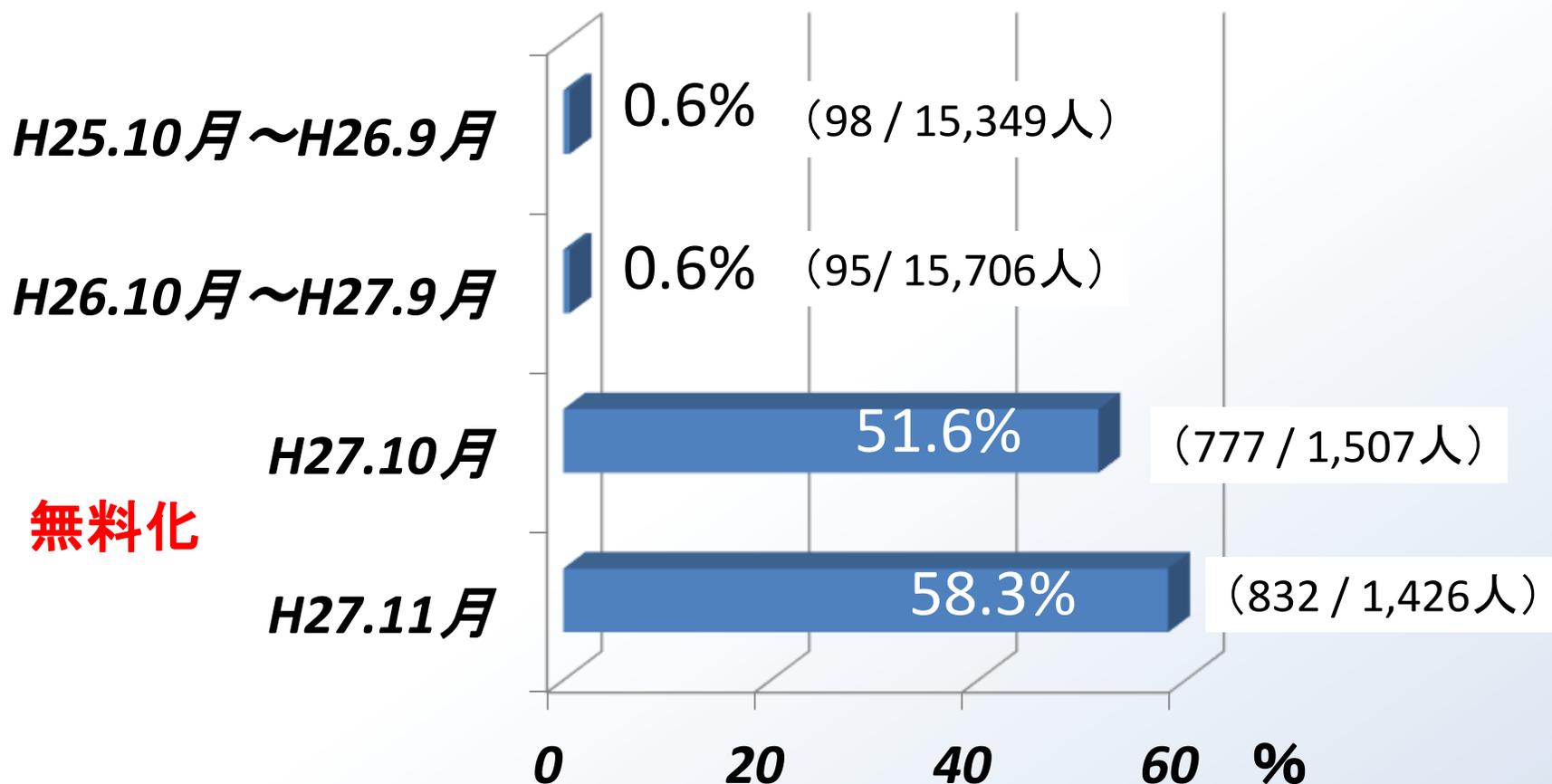


- 事業所検診
- 事業所以外検診



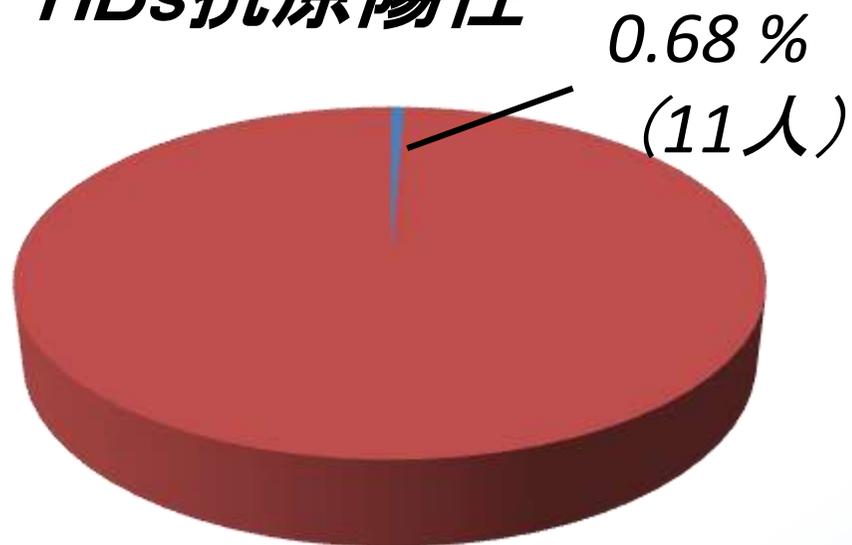
- 山口県居住者
- 県外居住者
- 居住不明

# S医療センター付属健康仮センター ウイルス性肝炎健診受診率

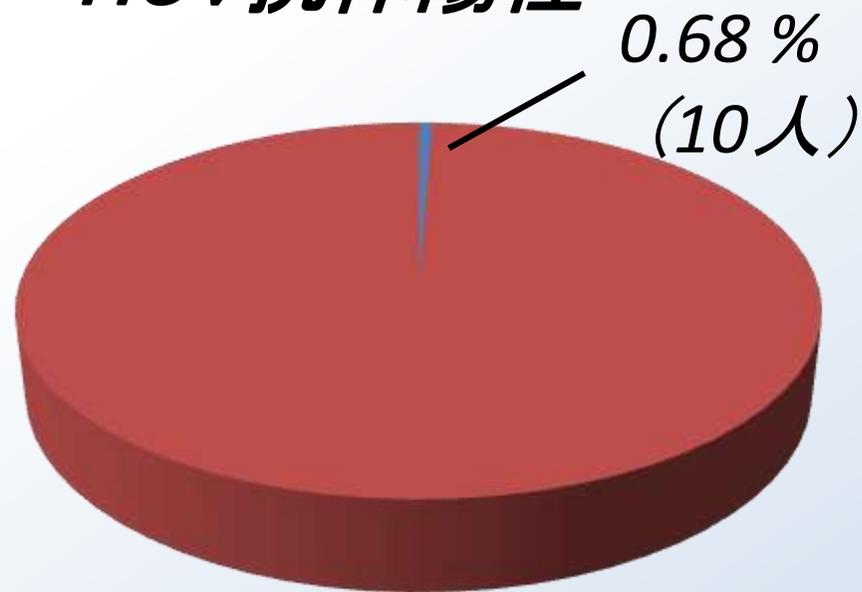


# S医療センター附属健康管理センター HBs抗原、HCV抗体陽性率（平成27年10～11月）

## HBs抗原陽性



## HCV抗体陽性



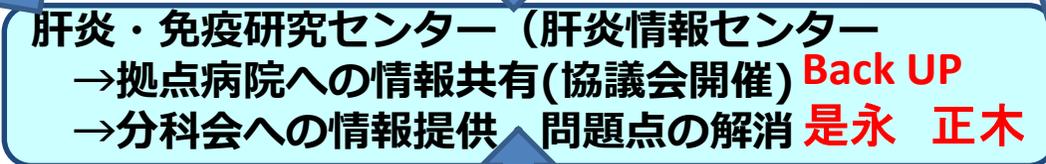
JCHOでの拡充を狙って3月11日に全国会議

# 全国・検診種別に対応可能な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステム確立 出来るだけ多くの肝炎ウイルス陽性者を治療舞台へ

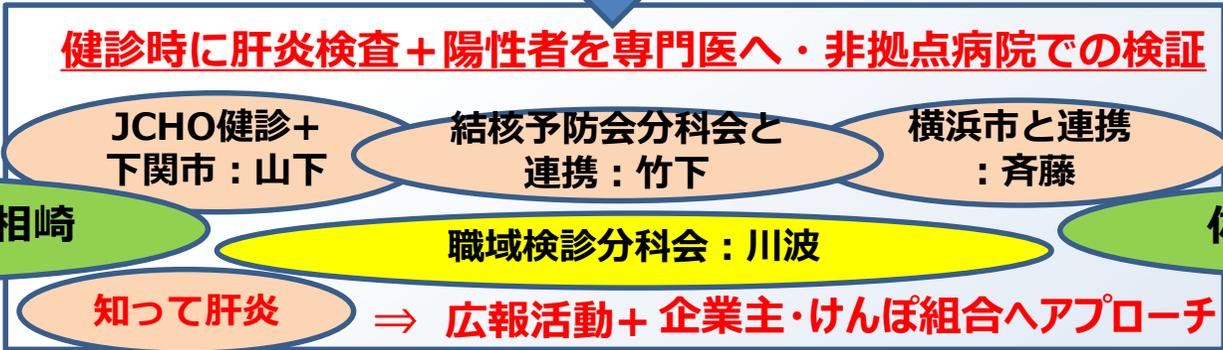
県単位でfollow system 確立済み： 金沢・山梨・埼玉



汎用性が高く・低コスト  
follow upシステムを!



他疾患で応用可能な  
システムの開発



就労支援班へ

働く人たちへ肝炎検査の機会を増加⇒独立型健診機関の活用